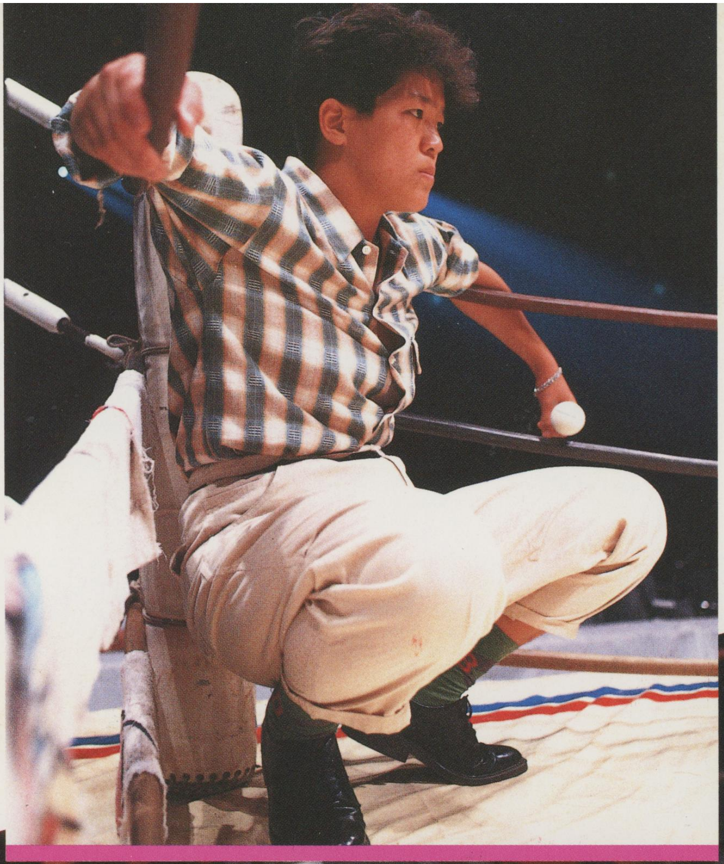
女子プロレス・パーソナル・シリーズ1
クラッシュ・ギャルズ
ライオネス飛鳥&長与千種
"風林火山"の空手着が当る!!
スペシャル読者プレゼント付
空手の師・山崎照朝からの熱きメッセージ!
8・22武道館ドキュメント・ライブ
タッグ激闘グラフ
必殺技大公開!フェイバレット・アクション
データバンクQ&A100
飛鳥・千種…それぞれの青春・生きざま・本音

風林火
風林

クラッシュ・ギャルズが
世代闘争に燃え尽きた日

8・22武道館決戦ドキュメント・ライブ

緊張感がみなぎる試合前の立体空間…
まぶしい奇蹟が呼んでいる
8・22武道館決戦ドキュメント・ライブ



コーナーにもたれ一点をみつめる飛鳥。この日を待った甲斐があった

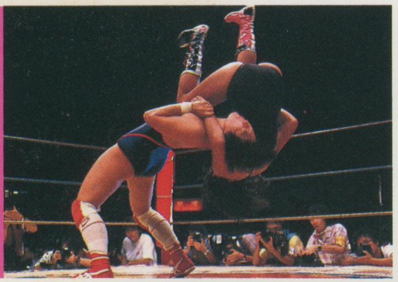
▶広い広い武道館をかけめぐる。走ることで雑念を吹き飛ばすのだ

▼練習を終えた千種は、リング上で大の字になる。マットの感触をつかむ貴重な瞬間だ

かつて、これほどまで肉体を酷使した死闘があっただろうか…デビルのボクシング流パンチが、千種の顔面を乱打。千種のキックがデビルのボディにめり込む。ジャガーと飛鳥が、典型的な教科書のような正確さを誇る女子プロレスならば、さしずめデビルと千種は、異種格闘技戦をかいま見る〝ケンカ〟マッチだった。千種は、ありったけのスープレックスと蹴りで〝天下取り〟に近づく。だが、これまで試合巧者といわれたデビルが一変して、鬼神に変貌したのだから、勝負は予想外の結末を迎えた。ダブル・ノックアウトの痛み分け。「…いままでベルトにこだわっていなかったけど、武道館みたいな大舞台ではベルトの重みがほしい！」デビルのパンチで、腫れあがった頰が激戦を物語っていた。千種の第二次クラッシュ革命は、再び始動する。

千種スープレックス3態！

千種オリジナルのクラッシュ・スープレックス



最近の切り札ダブルリスト・アームサルト。が、フォールは奪えず

女子プロでは千種しかできない、ドラゴン・スープレックス。レッツ・トライ！

打ち砕かれた千種の野望

「風林火山」の旗を背に、無心の魂で臨む千種

凄絶なダブルKOで劇的なフィナーレ！

絶叫するデビル！もっと締めあげろ千種！王座まであと一歩だ

▼オール・パシフィック選手権試合1/60
デビル雅美（両者KO、36分52秒）長与千種

また一から出直しだ、
でもこの痛みは忘れない!!

これがジャガーの壁なのか…

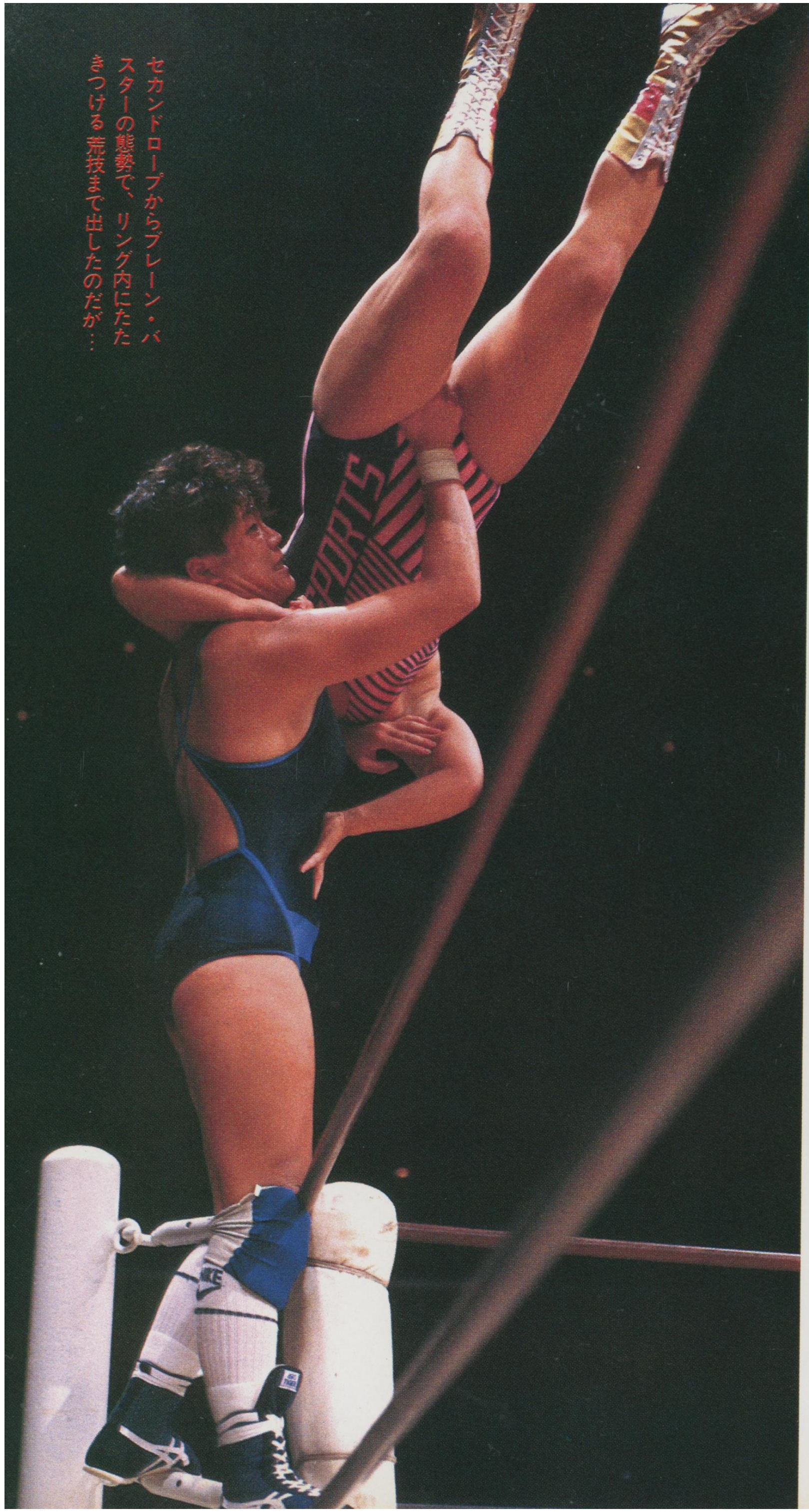
飛鳥、ジャガーの隠し兵器に散る！

▼WWWA世界選手権試合1/60 ジャガー横田（ジャガー式バックドロップ固め、24分20秒）ライオネス飛鳥

この時を待っていたんだ
だからこそ、辛いことにも耐えた
大切にしたいこの時を…

▲申し分のない資質を持つ飛鳥だけに、この敗戦は新たなエネルギーを生むに違いない
▶ジャイアント・スウィングに続く、回転飛行殺法を公開

憮然とした試合後の表情。だが破れて、悔いなし…これが青春・女子プロレスだ!

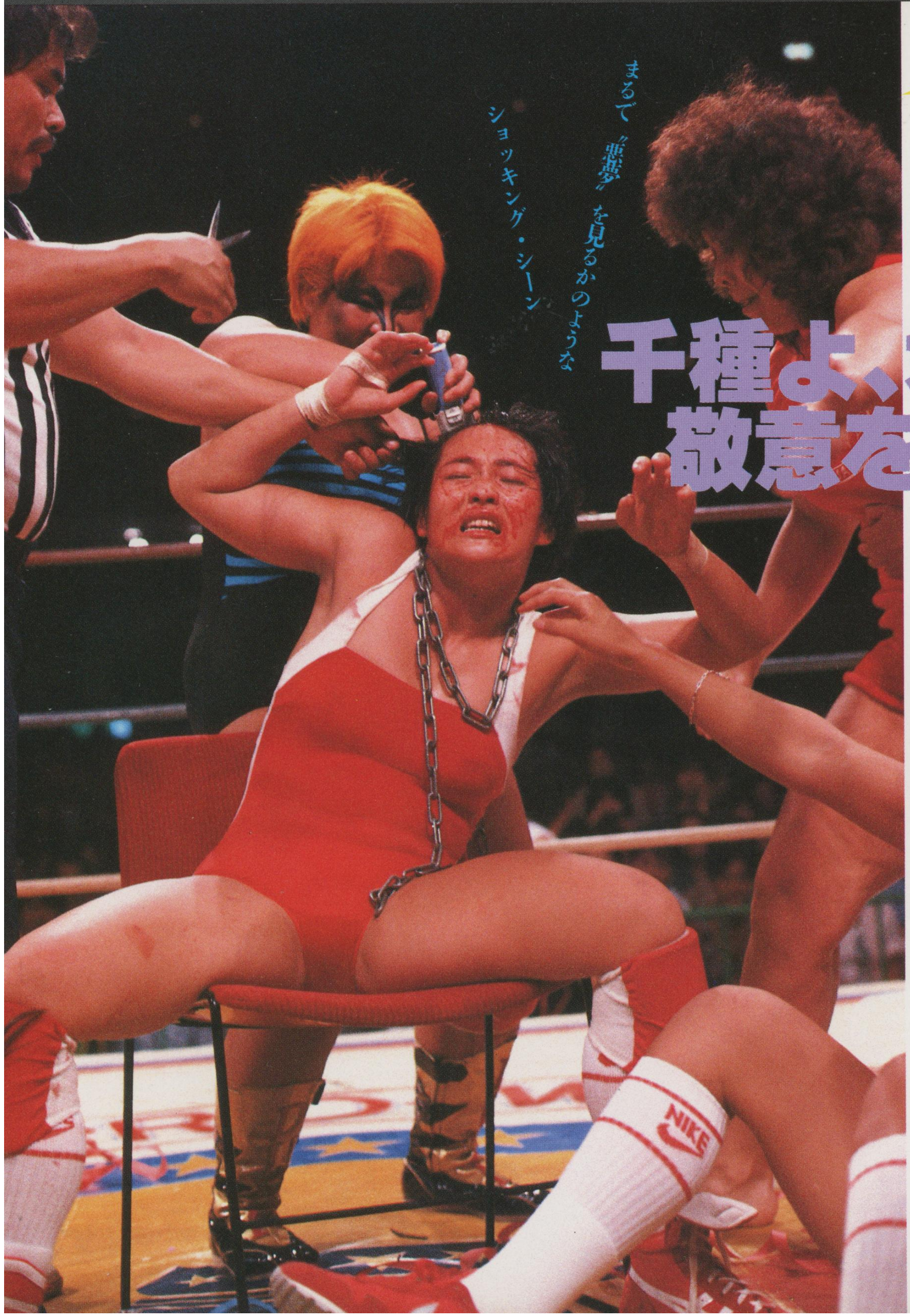


セカンドロープからブレーン・バスターの態勢で、リング内にたたきつける荒技まで出したのだが…

1460秒…飛鳥の夢は、はかなくも散った。左足首じん帯脱臼というハンデを克服したジャガーは、異常なまでの精神力で飛鳥をねじ伏せたのである。クラッシュ革命、クラッシュ伝説、クラッシュ神話─様々に形容されてきた飛鳥と千種の足跡。WWWA王者になることが、クラッシュの生き方でないのは、わかりすぎていることだ。だが、飛鳥にとってWWWA王者は、待ちこがれた恋人なのである。使命といってもいいだろう。日本武道館という格闘技の殿堂で、世界に勇躍する。世界戦を争えるのは、たった二人なのだ。飛鳥にしてみれば、これ以上の優越感はない。だが、師弟対決といわれた闘いには、プライドとプライドの交差することは瞬時だけだ。ジャガーをすべての面で乗り越えろ！飛鳥には、あの赤いベルトが似合うのだから！。

大試合に賭けるジャガーの執念は凄まじい。名付けて"ジャガー式バック・ドロップ固め„飛鳥の新王者誕生は、この瞬間、スリーカウントと共に消えた

THE SHOCKING



まるで〝悪夢〟を見るかのような
ショッキング・シーン

千種よ、君の勇気に敬意を表したい！

ダンプとの〝敗者髪切りマッチ〟で不本意なKO負け！ 千種は無残にも丸坊主になり、プロレス界の地獄を見た。

スペシャル・フィーリングNOW

ライオネス飛鳥★長与千種
それぞれの青春・生きざま・本音…

●構成／文　井田真木子

スペシャル・フィーリング

NOW

まるで男のコみたいな幼児期

ライオネス飛鳥
フラッシュ

一歳年上の姉・静子さんと運動会で(小1)

わかってほしい！　いつも思ってた。いつもあたしをわかってほしい！　いつも…叫んでた。

あたし、自閉症だったたって、よくいろんな雑誌とか、本とか、そう書かれるでしょ。

それ、事実。ホントのこと。

でも、一方でそれ、ウソなのね。ウソ。たしかにそういった。あたし、自閉症でしたって。肥満児で、ひっこみ思案で、無口で、おともだちなんて一人もいなくって。

たしかにそういうときってあったんですよ。

あったよね。ホント、苦しいときが。ライオネス飛鳥の暗い暗いティーンエイジャー時代！　暗い暗い、先のみえない時代！　なんつーて、ドラマチックじゃない？　ねえ。

でもさ、ホントのとこ、そういう時期ってさ、10歳までなの。小学校四年生まで。

ある日、誰か、クラスのともだちが、あたしのこと

「トンちゃん」

って呼んだのね。

それまでは、

「北村さん」

だったのが、初めて名前で呼ばれた。トンちゃん、トンちゃんって……。

それから、あたし、ものすごく元気な子になっちゃった。

なっちゃったっていうより、あたし、もともと、本質的にはね、目立ちたがりだったと思うの。人をひっぱって先頭にたちたがる子だったと思うの。

その性質が、

「トンちゃん」

って呼ばれたことで前へ、前へ出てきた。

こんな、こんな小さいときからね、他の人と同じことするのキライだった。大キライだった。他の人と同じことするくらいなら、やんないほうがいいって、あたし、思ってた。

目立ちたがり屋なんだ、結局、あたしは。

その目立ちたがり屋が、たまたま小さい頃小児結核にかかって、その薬の副作用でどんどんどんふとっちゃって、目立ちたがり屋であるからこそ、その〝デブ〟っていう事実をコンプレックスに感じて、それで自閉症みたくなっただけ、自閉症は仮の姿。

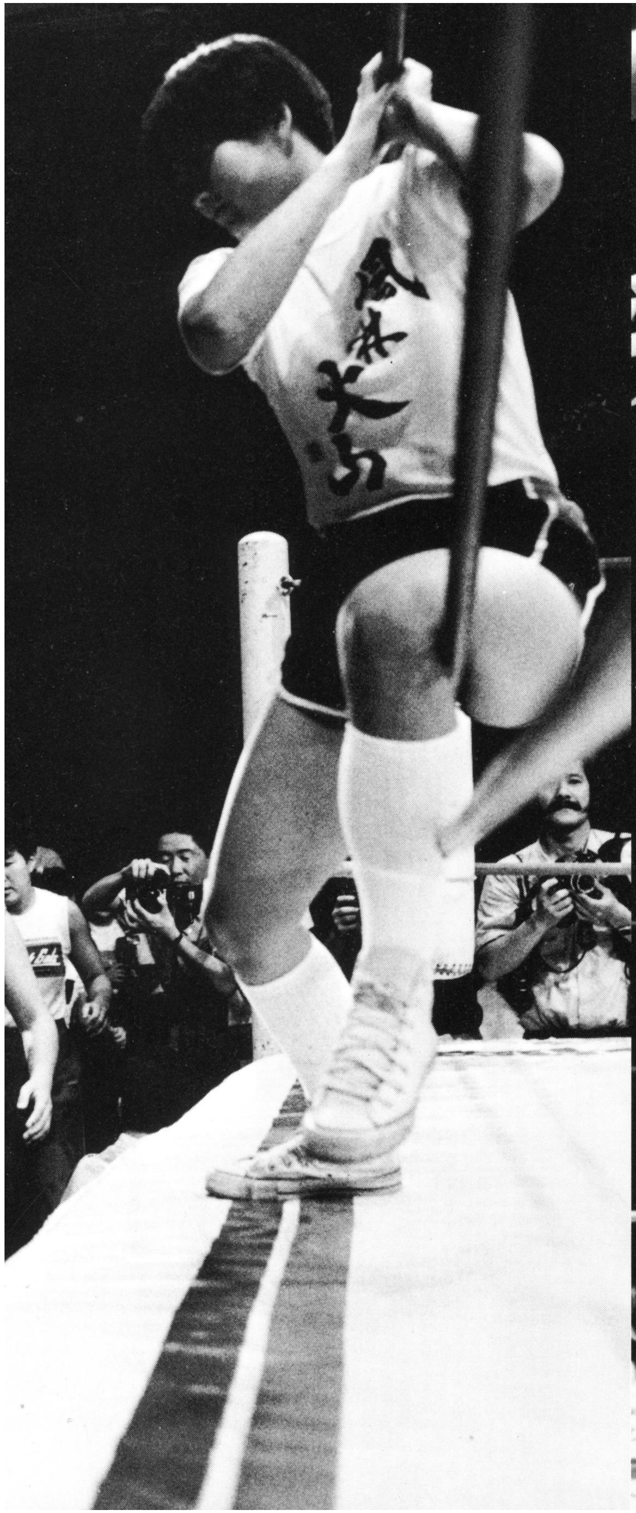
自閉症から脱皮した小学4年生。健康的な笑顔がイイね

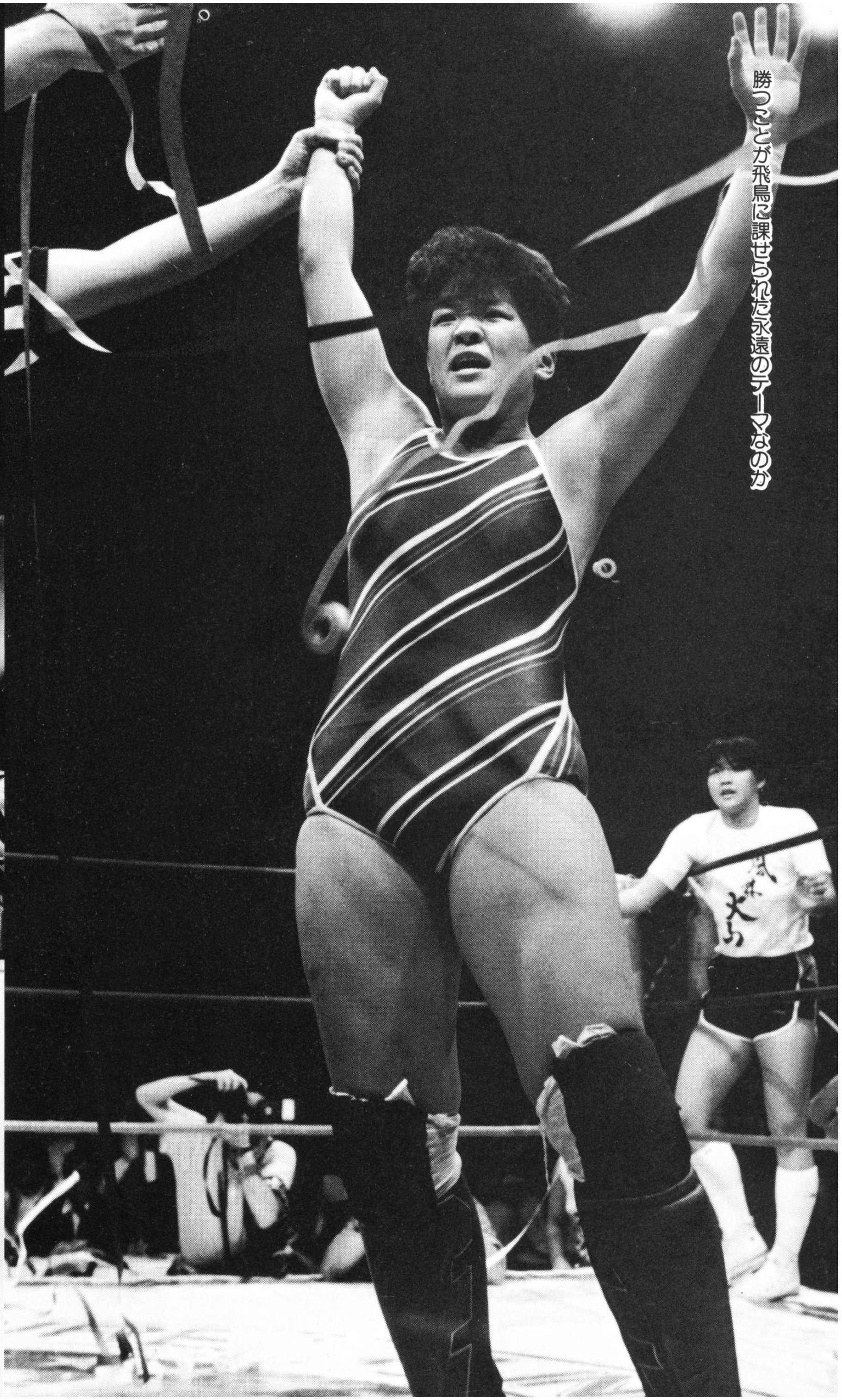
ライオネス飛鳥フラッシュ

これは珍しいスカート姿。中１の春の１枚だ

ライオネス飛鳥フラッシュ

女子プロレスに入門した直後のポーズ写真。左から2人目が飛鳥、右端が千種





勝つことが飛鳥に課せられた永遠のテーマなのか

ライオネス飛鳥フラッシュ

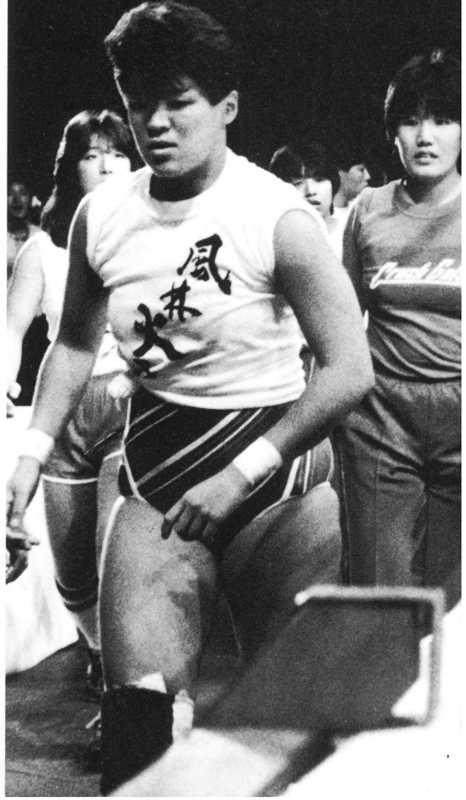
それだけ。
ホント、あたし、自閉症なんかじゃないの。
無口でもないの。
クラくもないの
引っ込み思案でもないの。
目立ちたがり屋なのよ、わたしって人間は。北村智子って人間は。ハデなのよ。ハデ！
だからこそ人にね、わかってほしいのよ。
北村智子ってどんな人間かわかってほしいのよ。
でもね、わかる？　あたしがいってるのは、本物の、ホントの北村智子をわかってほしいっていう意味。わかる？　わかってよ。ね。
自分も、もがいてるの。
もがいてるの。ホントの、真実の自分自身をどうやって出したらいいんだろうって。
わかんないの。うまくいかないの。
いつももがいてるの。
「さあ、これがホントの北村智子だ」
って思った次の瞬間には、
「あ、ちがうちがう。ホントのホントはこれじゃない、あたしはこんな人間じゃない」
あたしって、いつも矛盾でいっぱいなの。

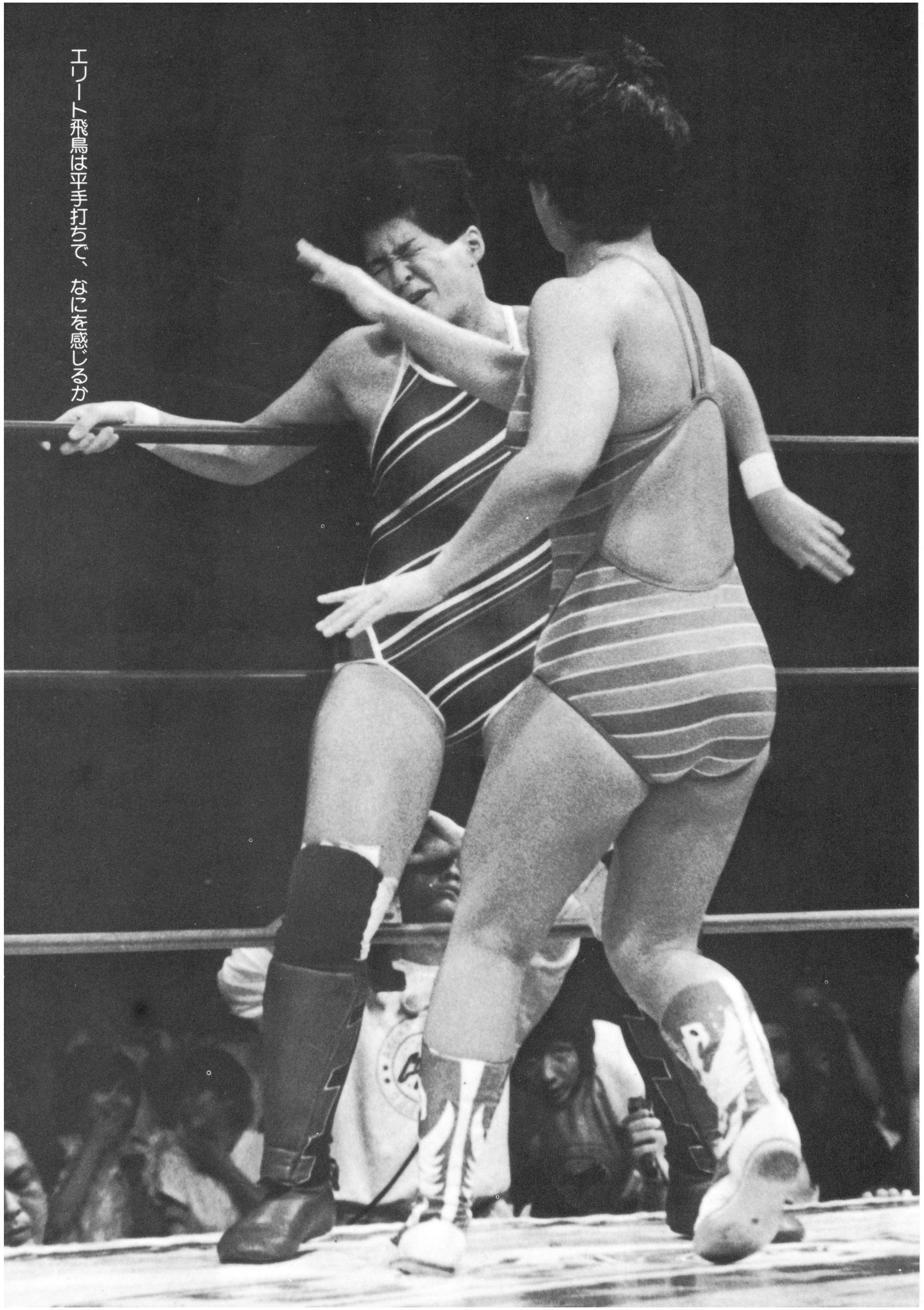
「あたしを、ライオネス飛鳥を、北村智子をわかってちょうだい」
っていいながら、一方では冷たい目して、
「もし、ホンモノのあたしをわかってくれないんなら、それを感じとれないんなら、もういい！　あっちいって！　もうわかってくれなくっていい」
って思ってみている。
ひがみっぽいの。
矛盾だらけなの。
あたし、一筋縄でいかないの。
熱くって、冷たいの。
わかってほしいの。でも、わからない人にはわかってほしくないの。
でも、ホントに心の奥の奥では叫んでるの、こう叫んでるの。
「あたしをわかって！　あたしのホントの姿をうけとめて！　ライオネス飛鳥をうけとめて！」
って。いつも。

ファンの子が死んだとき、誰も私にいわなかった。気をつかわれてかえってツラかった。

いま、目立ちたがり屋っていったけど、その反面、あたし、すごく人のことが気になるほうなんです。
人が自分のこと、どう思ってるか、自分のこと、どういうふうに行動してもらいたがってるのか。
今、このとき、自分をみてる人たちは何を考えてるのか。
マスコミの書くものも、あたし、人一倍気にする性質(たち)です。
ライオネス飛鳥がどういう評価をうけているのか、気になるの。
神経、細いっていえる。そういう意味では、いつも神経とがらせてる。キンキンに。
デビューして間もないころだけど、よく試合なんかにきてくれるファンの女の子が、試合場から帰るときに、交通事故で死んじゃったことがあった。
その子が死んだってこと、他の選手も、社長も、マネージャーも知ってた。
だけど、あたしには知らされなかった
なぜだと思う？
あたしが、そういうことにすごく弱いってこと、みんながわかっていたから。
あたしにその子が死んだっていったら、試合がメロメロになること、わかってたから。
だから他の全員はそのニュースのこと知ってたのに、あたし一人、ノンキな顔して試合してた。試合のあとに社長に呼ばれて、

入場する飛鳥のために、ロープを上げる千種。この友情がある限り…





エリート飛鳥は平手打ちで、なにを感じるか

「実はな……」
って切り出されたとき、あたし、立ってられないくらいショックだった。ボロボロボロボロ泣いて、泣いて。涙、とまんない。
みんなに気をつかってもらってたんだって実感して泣いたんだな、あれは。
その子が死んだこともショックだった。でも、そんなにみんなに気を使ってもらったことも、くやしいような、うれしいような、気が重いような、複雑な気持だった。
それに、もし、試合前にそのニュースをきいてたら、きっと試合がメチャクチャになっただろうってこともショックだった。ホントにメチャクチャになったと思う。
あたしはそんなに弱い人間じゃないっていえればいいんだけど、あたし、そういう意味では、ホント、心底、弱くてダメな、弱虫の泣き虫の、ダメなダメな人間なんだもん。
だから、涙、ボロボロ出て、とまらなかった。いつまでもいつまでも、社長の車に同乗して、その子の葬式にむかうあいだずうっと、あたし、ボロボロボロボロ泣いてた。

エリート意識があった。ジャッキー二世っていうエリート意識が。それに溺れかけてた。

あたしはね、自分のこと冷たい人間だと思う。ときどき、
「あたしってサイテーな女ね」
ってつぶやくときある。
あたし、これホントよ、あったかい人間じゃない。

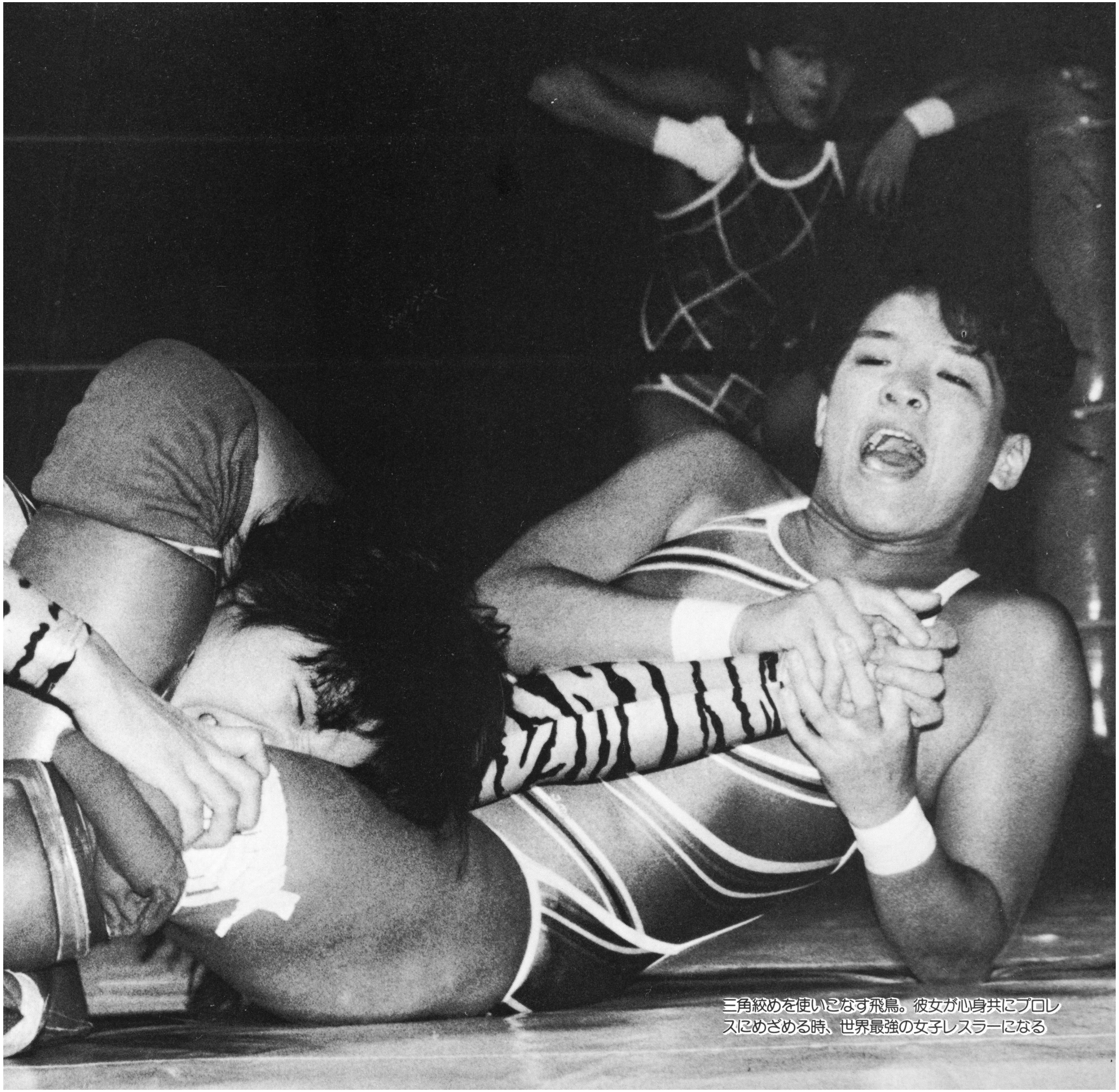
ライオネス飛鳥フラッシュ

サイテーなとこある。
ノンビリして、おっとりしてみえるけど、中までノンビリおっとりしてないの。
後輩を指導して?
「あ、ここで叱んなきゃ」
って思うことってある。
「ここで叱んなきゃ、この人ダメになっちゃう。」
って。
あたし、こういうとき怒れないの。
コトバがこのノドのとこまできていて、でも、うまく出てこない。
人が泣くとこ、みたくない。
人が恨みがましい目で、あたしのことみるの、耐えらんない。
人を傷つけること、できない。できない。
叱りコトバが、ここまできて、
「今だ！ 今だ！ いわなきゃ、いわなきゃ」
って思って、もがいて、でも結局、叱れないことが何度もあった。
そういう日の夜、ベッドに入って、
「あたしってサイテーだ」
って思う。
「なんて冷たいヤローなんだろ」
って思う。
「ごめんね、ごめんね」
って、その後輩に心の中で謝まる。
利美ちゃんなんかは、そういうとき、キチンと叱れる人。チグサもそう。
利美ちゃんも、チグサも心があったかい。自分を捨てて、人のこと考えてやれる。
利美ちゃんとチグサの二人みてると、つくづく、自分がいやな冷たい人間だって思うことがあんの。
だから、人を叱らなきゃいけないときに叱れるようになるのが、北村智子の一生の課題だと思ってる。これ、ホント。
チグサと初めてクラッシュを組んだとき、あたし、チグサのあたたかさにびっくりした。

それまでは、あたし、チグサのことあんまりよくわかってなかったみたい。
気の弱い、人にいっつも気がねしてる、神経質な子。チグサのことそう思ってた。
クラッシュを組んでから、チグサの偉さが一日、一日わかってきた。チグサが一日、一日大きくみえてきた。
チグサは、人が苦しむときには一緒に苦しめる人なの。
チグサは人の幸福を、ホントに、一緒に喜こべる人なの。
激しいけれど、あったかい。
気まぐれなとこあるけど、信じていい。
チグサに会って、クラッシュを組んではじめてあたし、
「ライオネス飛鳥はエリート意識のワナにかかってたんだな」
ってことがわかった。
エリート意識、あたし、危険なくらいもってたの。
最初に感じたのは、80キロ近くあった体重を女子プロレスの入団テストうけるんで、短期間に20キロおとしたとき。
「自分って、やろうと思えばやれるんだ」
って自信もついた。
それはいい。そこまではよかったの。
でも、プロになって、〃ジャッキー二世〃ってもちあげられて、期待されて、ベルトをとって、また期待をかけられて……
あたし、プロ入りしてからずっとエリートだったっていえる。ずっとエリート、そんでもって、ずっとスランプ。皮肉ね。
「恵まれてますね、飛鳥さんは」
って、人からいわれるたびに傷ついてた。恵まれてるのが、エリートでいることがだんだんだんだん、自分の首しめてきた。
〃エリートの〃〃ジャッキー二世の〃〃期待をになう〃ライオネス飛鳥をやってくのが、もういやんなってた。でも、自分自身も、自分のエリート意識のとりこになってて（バカバカしかったなあ）自分はエリートなんだから、エリートなんだからって。結局、自分をしめつけてることに気がつかなかった。
チグサはね、あたしのそのエリート意識のカベをぶちやぶってくれた人。
クラッシュを組んで、初めて、あたし〃エリートのライオネス飛鳥〃から、レスラー・北村智子にもどれた。
原点にたちかえるっていうの? こういうの。レスラーとしての自分を初めて素直にみつめることができるようになった。
チグサがいなかったら?
あたし、きっと自分のエリート意識につぶされてただろうと思う。チグサがいなかったら…多分…そうなってた。

たった一人で控え室にいた。心の底から泣いていた。もう一度やりたい！ もう一度だけ。

やっぱり忘れらんない日ってある、でしょ? あたしにとったら、それ、全日本のベルトを松本にとられた試合（昭和58年1月8日）なのね。
あんとき、あたし、試合中に膝を脱臼して、メッチャクチャにやられて、立ちあがれない。膝がきかない。立ちあがりたい！ 立ちあがれない。声が出ない！ 膝から下が自分のものじゃない。立ちあがれない!!
とうとうゴングが鳴ってしまう。
「まだできる！ まだできる!!」
声じゃない声が出た。試合放棄するのなんて許せなかった。自分を憎んだ。
控え室に帰ったとき、控え室、誰もいなかった。真冬の、寒い、ガランとした灰色の控え室で、あたし、ぶるぶるぶるぶる震えながら泣いた。生まれて初めてくらい、大きな声を出して泣いた。
何分たったのか、わかんない。ふと気

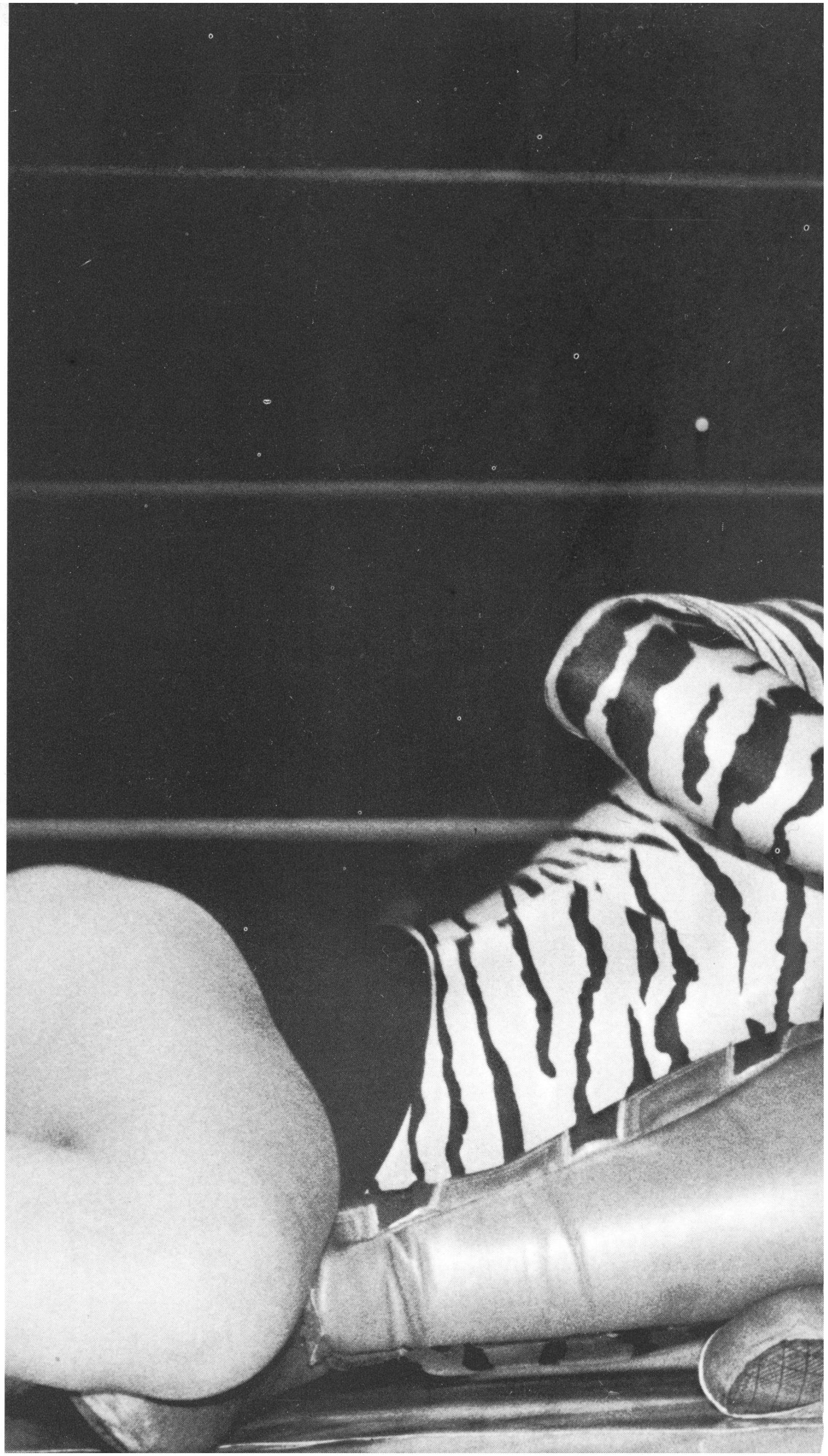


三角絞めを使いこなす飛鳥。彼女が心身共にプロレスにめざめる時、世界最強の女子レスラーになる

ライオネス飛鳥フラッシュ

がつくと母親が部屋のすみに立っていた。
母親がなんともいえない目で、あたしのことみた。これ以上ないくらいミジメな娘にみえたと思うよね。そんときの母親の目には、
「トモ」
って母親が小さな声でいった。
「トモ、帰ろう。ママと帰ろう」
って。
「トモ、もうやれるだけやったんだから、ママと一緒におうちに帰ろう。ね、帰ろう。トモ、今やめたって、あんたのこと責められる人は誰もいないから。もう、もう、帰ろう」
何か、大きいものが胸からのどもとにあがってきた。あたし叫んでしまった。
「やだ！」
って。

「やだ！ 帰んない‼ 今、帰ったら、あたしは一生、自分のこと嫌いになる。やだ！ そんなのやだ！ 帰んない‼ もう一度やってみる、もう一度だけ」
もう一度だけ。もう一度だけ。そして今日までやってきちゃった。
あんとき、母親がいうように、やめて帰ってたら、あたし、一生、自分のこと憎んだだろうって思う。きっと憎んでた。
あのね、こういってもいいの。ライオネス飛鳥は失敗ばっかしてきたって。挫折ばっか経験してきたって。ミジメだったって。
恵まれた、エリートのライオネス飛鳥なんてどこにもいない。そうよ、そんなものはウソばっかし。あたしじゃない。
ホンモノのライオネス飛鳥は、失敗とミジメさと、こだわりとオチコミの海を泳いできた、一人の女の子なの。
でも前に進んできた。とにかく前に進んできた。つまづいても、ころんでも前へ。
だってね、レスラーになるときに、自分に約束したんだから。必ず、ジャッキーさんのもってたベルト、WWWAのベルトをとるんだって。ベルトをとるまでは前に進みつづけるって。
かわいくない。自分でもそう思うよ。ペイペイの新人のときから、心の中では〝ベルトをとるのはあたし〟って思ってたんだから。
でも、それがあたしの生きかた。それがあるから前に進んでこれた。
これがあたしの生きかた。
誰にも、文句はつけさせない。
ね。



スペシャル・フィーリング

NOW

好き勝手に育った少女時代。故郷・大村での楽しかった思い出だ

長与千種

スピリッツ

「男のコがほしかった…」という父は、千種を男のように扱い育てた

父・繁さんの分身、それがレスラー千種なのだ

ヘンな子っていわれてた。人の目、気にしない
ヘンな子だったらしい。あたし。

ちっちゃい頃、自分の部屋に机があってね、あたしのと弟の。
白い壁にむかって、木の机がふたつ並んでたの思い出します。

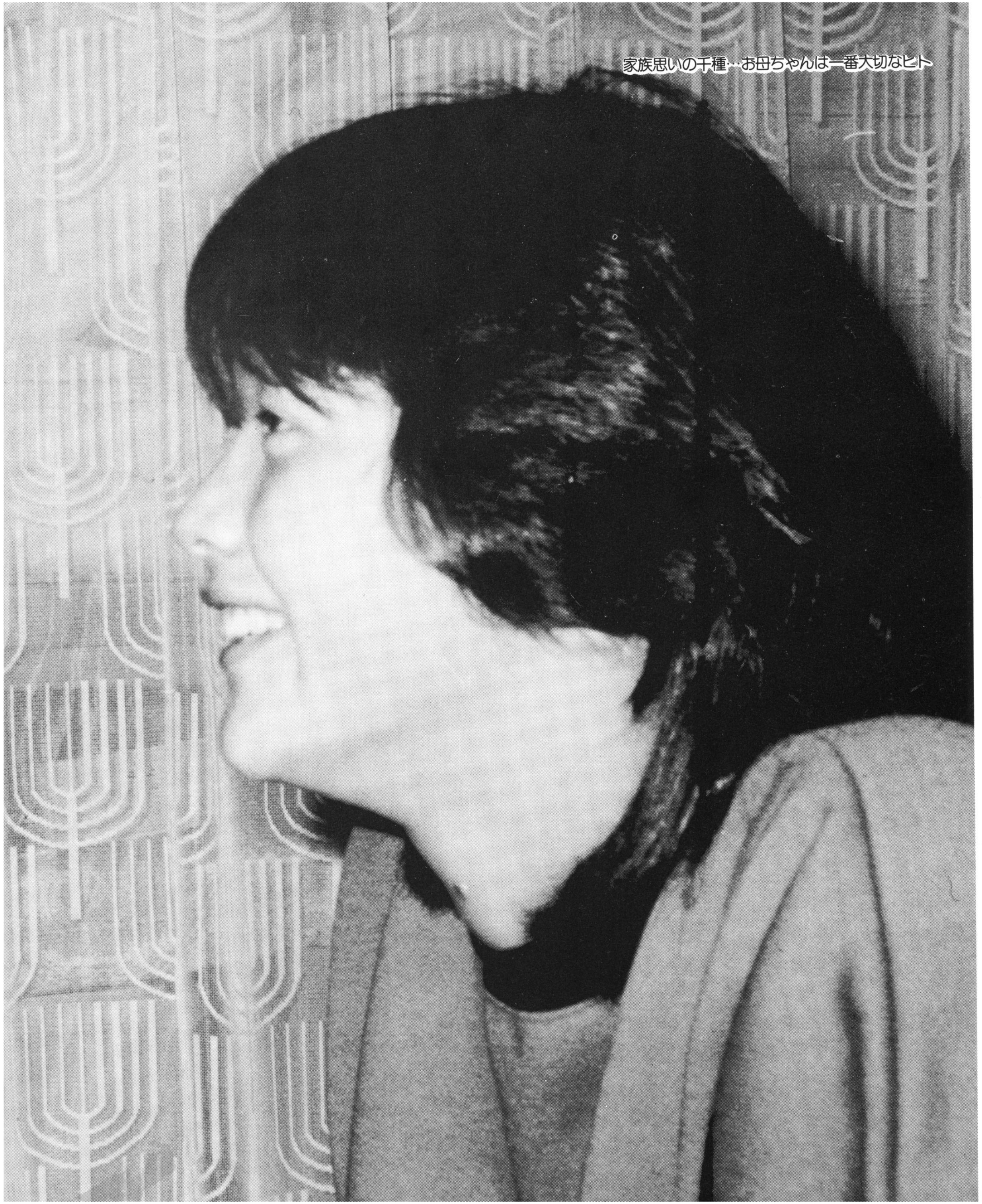
んで、その机と机のあいだの壁んとこにね、オヤジが、ある日、紙を貼りにきた。
「なんか?」

ゆうてみるとね、オヤジ、その紙に墨でこう書いとった。
「ひとつ。ウソをついてはいかん。
ひとつ。ひとにめいわくかけてはいかん。
ひとつ。かげ口きいてはいかん。」
オヤジの奴、

長与千種スピリッツ

「毎朝な、これ読んで学校いけ」
っていう。
オヤジなりにね、なんか人生を教えないかんつー気になったんだと思うけど、あたしたち、弟とあたし、結構マジメにその言いつけ守って、毎朝、学校へいく前には、じいっとね、その紙の文句をみるようになってた。
子供ごころにね、
「いい大人、ゆうのはウソをつかんもんなんやな、迷惑かけんもんなんやな、カゲロきかんもんなんやな」
思ってたと思う。
いや、信じてた、ゆうほうがいいかな。

自分はぜったいウソつかん、カゲロきかん、って思ってたもん。
で、そのうちオヤジの仕事がダメんなって、オヤジとオフクロさんとが九州を離れることになって、あたしと弟とは親戚の家にめんどうみてもらうことになったのね。



家族思いの千種…お母ちゃんは一番大切なヒト

んで、わかったことがひとつあった。
大人ってのは、ウソついたり、人に迷惑かけて知らんぷりしとったり、カゲロきいたりするものや、ということ。
おかしいね。ホント、おかしいよ。
オヤジが紙に書いたことと、正反対のことするんが大人ゆうもんだった。

でも、あたしと弟、そんなになっても、やっぱしオヤジの書いた紙キレんこと、信じてたから、ウソつく人は嫌った。カゲロたたく人は、どんなにみんながそうやからといっても、やっぱりいかん、と思った。
今でもそう。

今では、世間ってそういうもんでないってことはよくわかってる。
ウソつくのが世間。
人に迷惑かけるのが世間。
カゲロきくのが世間。
でも、あたしは今でも、あの紙キレの文字、信じてる。

長与千種スピリッツ

ウソつくのは、カゲロきくのはいかん
って信じてる。
世間がどーだっていいの。
あたしはあたし。
いつまでも昔のまんま。あの、机の前
の白い壁に貼ってあった紙キレを、毎朝
じいっとみていた頃と同じなの。

だから、学校にいってるころね、宿題
なんかぜんぜんせん子だったのよ。で、
先生に叱られるでしょ。
「なんでしてこんの！」
って。
あたし、言い訳やら、いっこもしなか
った。

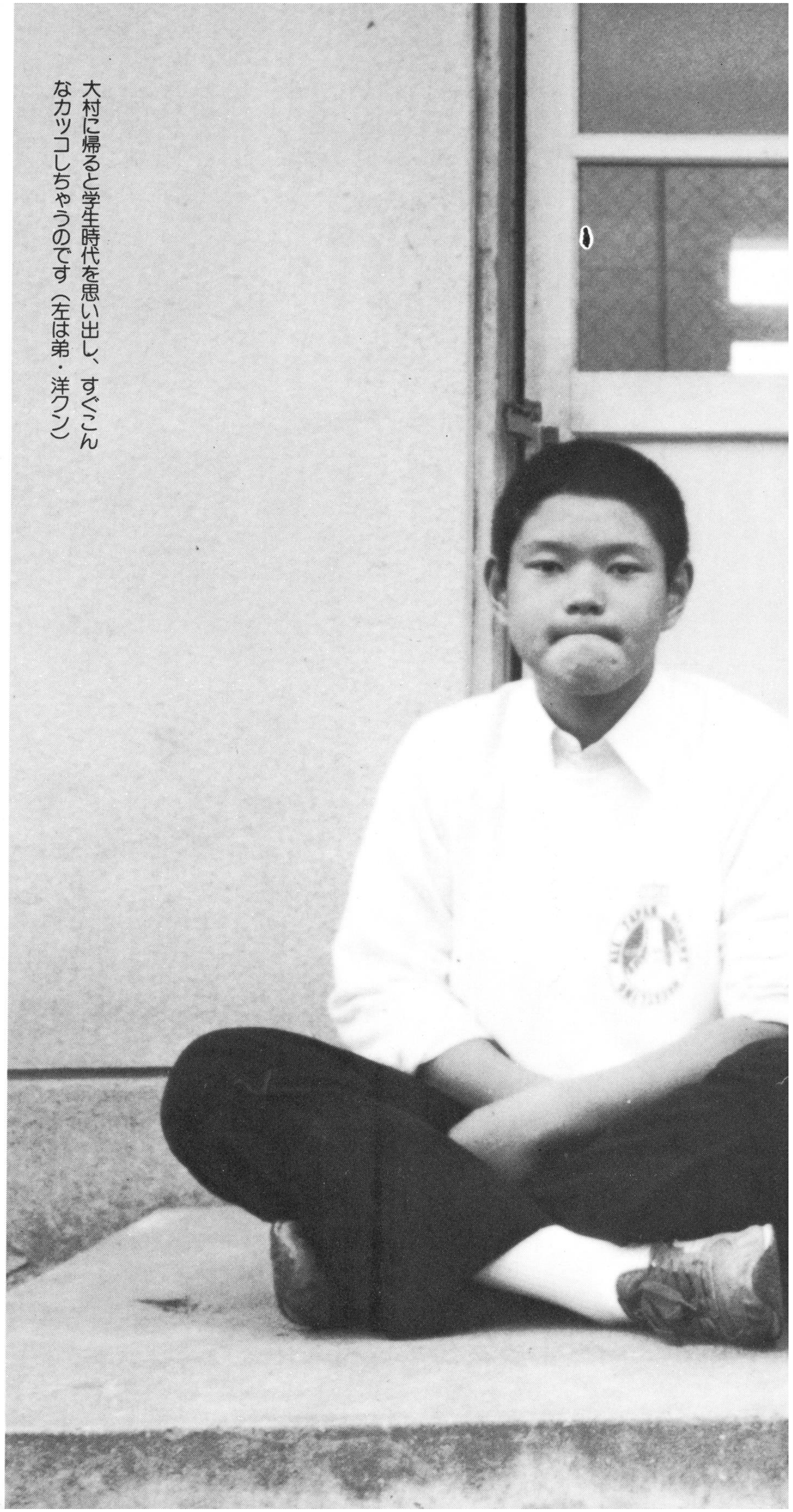
宿題はしたくないからしなかった。
そんだけ。
で、宿題せんかったら怒られるんは知
ってたけど、怒られんようにズルして、
宿題してるフリやらするんは嫌いだった。
大嫌いだった。
宿題せんから怒られるんなら、しょう

SAILORS

がないと思ってた。
んで、怒られて、先生があたしの額んとこに朱墨で赤マルつけるんね。罰として。
あたし、その赤マル、額につけて堂々と家に帰ってった。んでもって、その赤マルつけたまんま、次の日も学校いった。
自分ではね。担任の先生の手間、はぶいてやったつもりなの。だって、毎日、宿題せんことに決めとったからね、先生、毎日、あたしの額に赤マルつけないかんでしょう。その手間、省いたろ、思って。
ヘンな子ってサンザンいわれた。
でも、全然、ハタ目って気にせん人間だったから、へんな子でもよかったの。
へんな子っていわれて、それでめげるようなとこってなかったみたい。生まれつき。

お風呂ん中でね、男の子のチンチンひっぱって、なんであたしにはないんだろうって。

人が〝あたりまえ〟って思って納得しちゃうこと、あたし、納得しないことが多かったと思う。
あたし、ずうっと、自分んこと、男と思ってた。女、と思ったことなかった。
オヤジは男の子がほしくてね、あたしが生まれたとき、
「男やないんかあ」
ってガッカリしたらしい。すごく。
でも、オヤジ、けっこうシツこくて、男が生まれなかったら、今度は、あたしを男として育ててやろう、思ったわけね。
あたしんこと、ずっと〝彼〟って呼んでた。自分が競艇選手やったでしょう。子供にも競艇やらせたかったのね。そのためには、あたしは男でなけりゃいけなかったわけ。
オヤジがそうやって、あたしのこと、〝彼〟っていって育てたから、あたし、自分んこと男やと思い込んでた。自分んこともオレっていってたよ。だから、小学校三年まで風呂屋にいくと、男湯のほうに入ってたの。
んで、風呂屋にいくと、ヤクザの人がいるの。すんごい彫りものして、体、洗っとる。そのまわり誰も近づかんわけ。当然。
でも、あたし平気でそのヤクザの人んとこにチョコチョコ近づいてく。
うっとりしながら。
彫りもんのきれいさにうっとりしてんの。
「おじちゃーん」
っていって、そのヤクザの人の横に座りこんじゃう。
「おじちゃん、きれいな絵、描いとんの


大村に帰ると学生時代を思い出し、すぐこんなカッコしちゃうのです（左は弟・洋クン）

〝風林火山〟の刺しゅうの入った空手着は、千種の正装。今日も正装で闘いに望むのだ

ねえ。おじちゃん、きれいね、これ。さわってもええ？　ええ？」

　指でさわってみて、あたしもいつか、こういうきれいな絵、体に描こうって、本気で思ってた。

　きれいなもんはきれいや、としか思わん子供だったから、ヤクザのおじちゃんも全然こわいことなかった。そういう〝あたりまえ〟じゃないとこ、今でも残ってる。ホント。

　あと、男湯の中で、初めて男の子のチンチン、発見したときはすごく不思議だったのね。

　あれ、小学校四年のときだった。お風呂に入ってて、突然、アッて気がついた。気がついたら、もう、なんだろなんだろで夢中になって、男の子をおっかけまわしてた。

「見せてみ、見せてみ」

ゆーて、男の子、おっかけてた。

んで、一人つかまえて、エイッてチンチンをつかんで、

「これ、何？　これ、何？」

って大騒ぎ。

なんで自分にはないのか、わからんかったの。ひょっとしたら、これ、ひっぱるとぬけるんかしらんと思って、男の子のチンチン、力一杯ひっぱってみた。

んで、その子のはぬけんかったから—あたりまえだけど—他の子のはどうだろと思って、他の男の子、そんとき風呂屋にいた子のを全部、ひっぱってみた。

　結局、全部ぬけなかったんで、そんとき考えこんでしまったのね。ホント考えこんだ。

「なんで、オレにはあーゆーのがついとらんのだろう」

って。

　風呂屋からの帰り、オヤジに何度も何度も「なんで、オレにはついとらんの？　他の子にはついてんのに、なんでオレにはついとらんの？　オレは片輪なん？」って言い続けたの。

　オヤジ、困った顔して、

「それは…お前が女じゃから。女じゃか

長与千種スピリッツ

ら、そーゆーもんはないんがあたりまえなんや」

そういったけど、あたし、

「女じゃとなんでないんや」

ってきかなかった。

それから何度も、風呂屋にいくたびに、風呂屋中の男の子のチンチンひっぱってみて、最後には、あたしが風呂屋に入っていくと、

「わあっ、チコねえちゃんが来たぁ！」

って男の子が大騒ぎして、みんな、半泣きになりながらお湯から飛び出して、チンチンをひっぱられないうちに早よ逃げようとしてた。

でも、そのうちに、あたしも

「そうか、あたしは女ゆうもんなのか」

って思うようになって、

「女だから、チンチンがないんだな」

って思うようになって、女湯に入るようになった。

でも、考えてみれば、そんときが、あたしが初めて〝あたりまえ〟のことに負けた瞬間だったんだなあ、と思う。

だから、ホントのこというと、女湯に入りにいくっていうのは少しガックリおちこんだ気分がしたんだよね。

は空手。中学卒業のときに二段の実力だっていわれて、長崎県ではじめての中学生の有段者だったけど、なんかものたりなかった。

そんとき、あたし、プロレスに出逢った。

プロレスのこと知ると、頭がカアッーと熱くなって、プロレスのことしか考えられなくなったのね。

「うち、プロレスになる」

って。そればっかしいってた。プロレスになれんかったら、自殺しようと思った。中学二年んときにスカウトをうけて、担任の先生と校長に反対されたときもいった。

「プロレスになれねば死にます。ぜったい死にます。プロレスになりたいんです」

レスラーじゃない長与千種は考えられなかったの。レスラーになれば、いっとう強くなれば、長与千種はホント、ウソのない人間になれるって。昔、オヤジが机の前の白い壁にはった、あの紙キレどうりの〝ホンモノの人間〟になれるって。

あたしレスラーになれなかったら……そうね、ホントに自殺していたかもしんない。

うち、プロレスんなる！なれんかったら死んでやろって思ってた。

昔から、正義の味方っていうのが好きで、正義の味方は強くなければならんと思ってたから、いつも

「いっとう強いもんになろう」

って思ってた。

その気持ん中には、オヤジをいつか越えてやろうっていう気持もあったと思うのね。

正直いうと、オヤジのこと、いつのまにか憎むようになってた。すごく憎んでた。

オヤジはいっつも恐い人で、すぐ手ぇあげる人だったのね。

あるときなんか、土間でモチつきしてる、その横をあたしが通ったっていうだけで、手にもってた、こーんな大きなシャモジでガツンと頭、殴たの。

「なんでぇ？　なんで、そんな殴るん？」

あたし、涙うかべて、オヤジにかみついた。

オヤジ、

「うるさいっ！　あっち行け!!」

ってしか言わんかった。

オヤジんこと、憎んでやると思った。

オヤジが仕事に失敗せんかったら、一家で仲よくくらせたのに。親戚ん家で辛い目にあったり、一人ぼっちで淋しい目にあったりするのは、みんなオヤジのせいだって。

オヤジを憎みつくしてやろうって。

その気持と、強くなりたいって気持が結びついたんだと思うのね。

最初のうち、

「いっとう強いもん」だと思っていたの

このごろ、自分の名前が好きになってきた。オヤジも許せるようになってきた。

長与千種って名前、このごろものすごく好きです。

長与千種をやってんのが好きになったみたい。

レスラーになったことにずっと疑問もたなかったっていえばウソになる。レスラーやってる長与千種に不満もったこと、ホント、何度もある。

いつも

「プロレスは、ホントにいっとう強いのか」

って考えてきたんだと思う。

プロレスに疑問を感じると、プロレスの強さに疑問、感じはじめると、とことん疑ってみなけりゃ気がすまなかったもん。

先輩を疑った。

プロレスのルールを疑った。

会社を疑った。

お客さんを疑った。

デビルさんにひどくドヤされたときもそうだった。デビルさんがホントに強いのか、あたしのほうが強いんじゃないか？　そう思い出したらとまんなくなった。

試合んときにデビルさんをコーナーに追いつめて、メチャクチャに蹴りをいれ、メチャクチャに顔をはった。

「デビルさん、怒れ！　怒れ！　怒って一発であたしを気絶させてみろ!!」

心ん中で祈ってた。

リングにおける千種の集中力とスピリッツは女子プロレスのステータスだ

試合のあとでデビルさんにどやされた。みんなの前で。デビルさん怒ってた。

「アンタ、仕事のしすぎで気が変になったんじゃないの？　思いあがるんじゃないわよ。プロレスをなんだと思ってんの！　ケンカじゃないのよ！」

あたし、デビルさんの顔をじいっとみつめてた。コトバがここんとこまで出てた。

「デビルさん。千種は、プロレスの強さを、デビルさんから再確認したかったんだよ」

って。

「デビルさんに負かしてもらいたかったんだよ」

って。

でも言わなかった。

言わなかったけど、その疑問は自分でとこうと思った。

そのあと、飛鳥とシングルであたった。

そのまたあと、デビルさんとタイトル戦をやった。

その時間の流れの中で、あたし、もう一度、プロレスが好きになった。

長与千種はプロレスやってて、よかったと思った。プロレスに恋していて、長与千種は幸せだと思うようになった。

ホント、本名でレスラーできるのっていうのは幸せなことなんだ。本名でやれるってことはさ、ほら、オヤジとオフクロに

「生んでくれてありがとう」

って言えるってことでしょ。

今、あたし、オヤジのこともう憎んでない。

今はオヤジのこと許してる。

オヤジに感謝してる。

生んでくれて。レスラー・長与千種をこの世の中に生まれさせてくれて、

ホント、正直いうと、今はオヤジにいいたいのね。

ありがとう。オヤジ。ありがとって。

CRUSH FAVOURITE ACTION

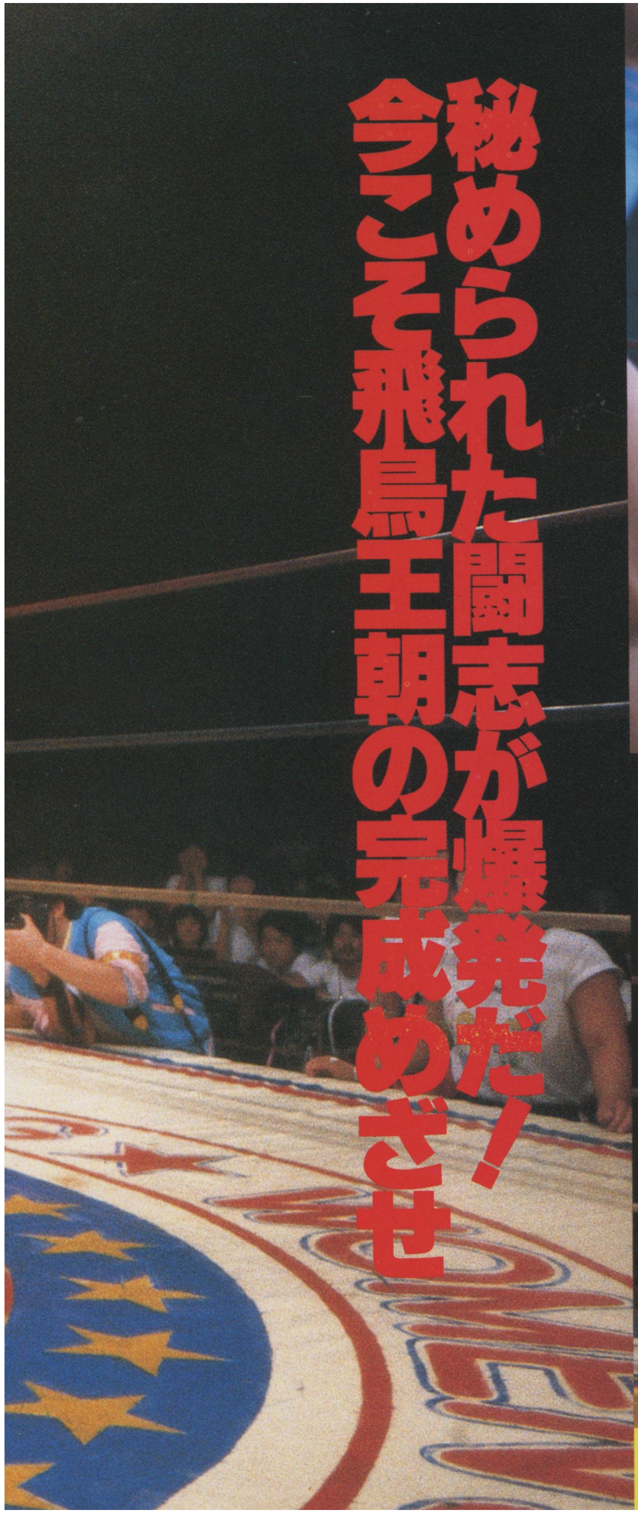
クラッシュ・ギャルズの〝革命精神〟は、時代のイニシアチブを握っている。そこには王者としての、ウイニング・ロードは似合わない。「ジス・イズ・チャレンジ！」一未知のエネルギーに満ちあふれた飛鳥と千種は、ファンのハートをがっちりつかんだ。そのホットシーンの連続こそ、クラッシュの真骨頂なのである。

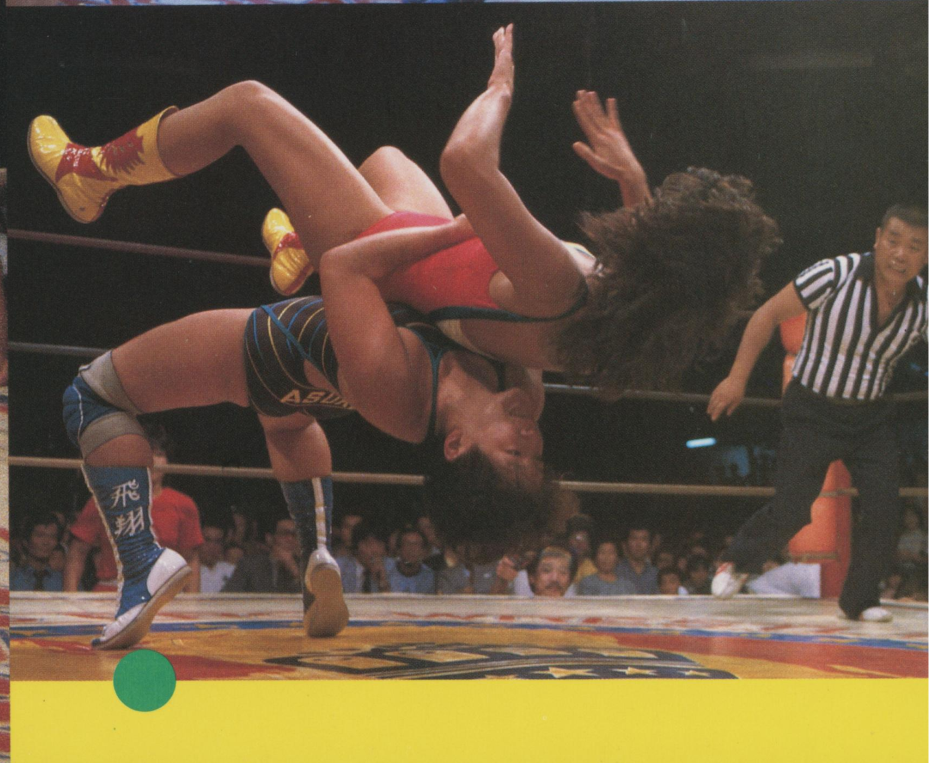
“蹴り”こそ格闘技者の証明

破壊娘の代名詞、それはザ・カラテ

CRUSH FAVOURITE ACTION

秘められた闘志が爆発だ！
今こそ飛鳥王朝の完成めざせ

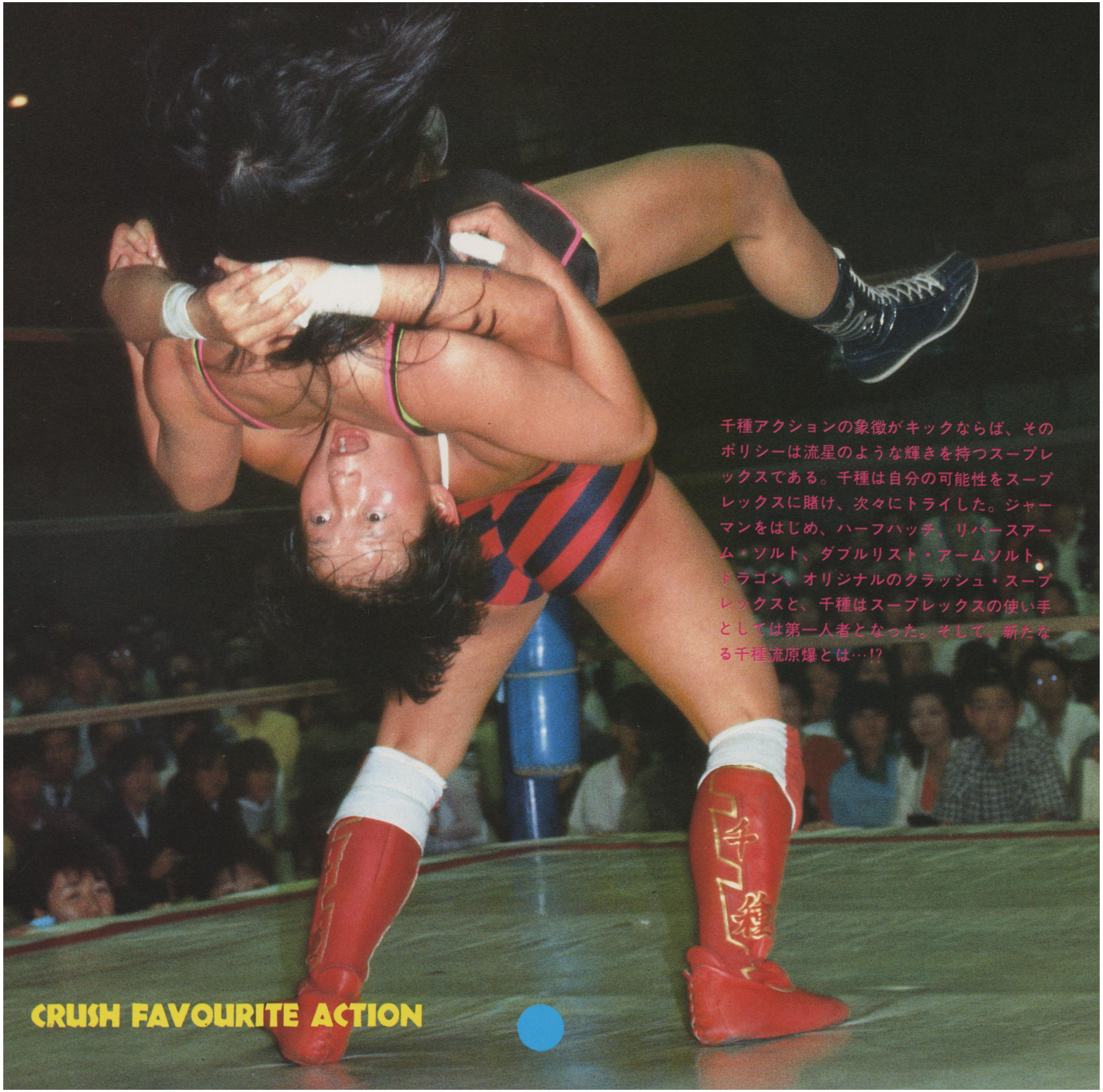




燃えたぎることが千種の聖書(バイブル)だ。飛鳥はといえば、もう一歩燃えきれない余力を常に潜ませている。この余力こそ、飛鳥の秘められた強さだと感じずにはいられない。18番ジャイアント・スウィングの回数記録更新とジャーマン・スープレックスへの敢闘なトライ…飛鳥は今、スーパー・マシンへと生まれ変わる。

CRUSH FAVOURITE ACTION

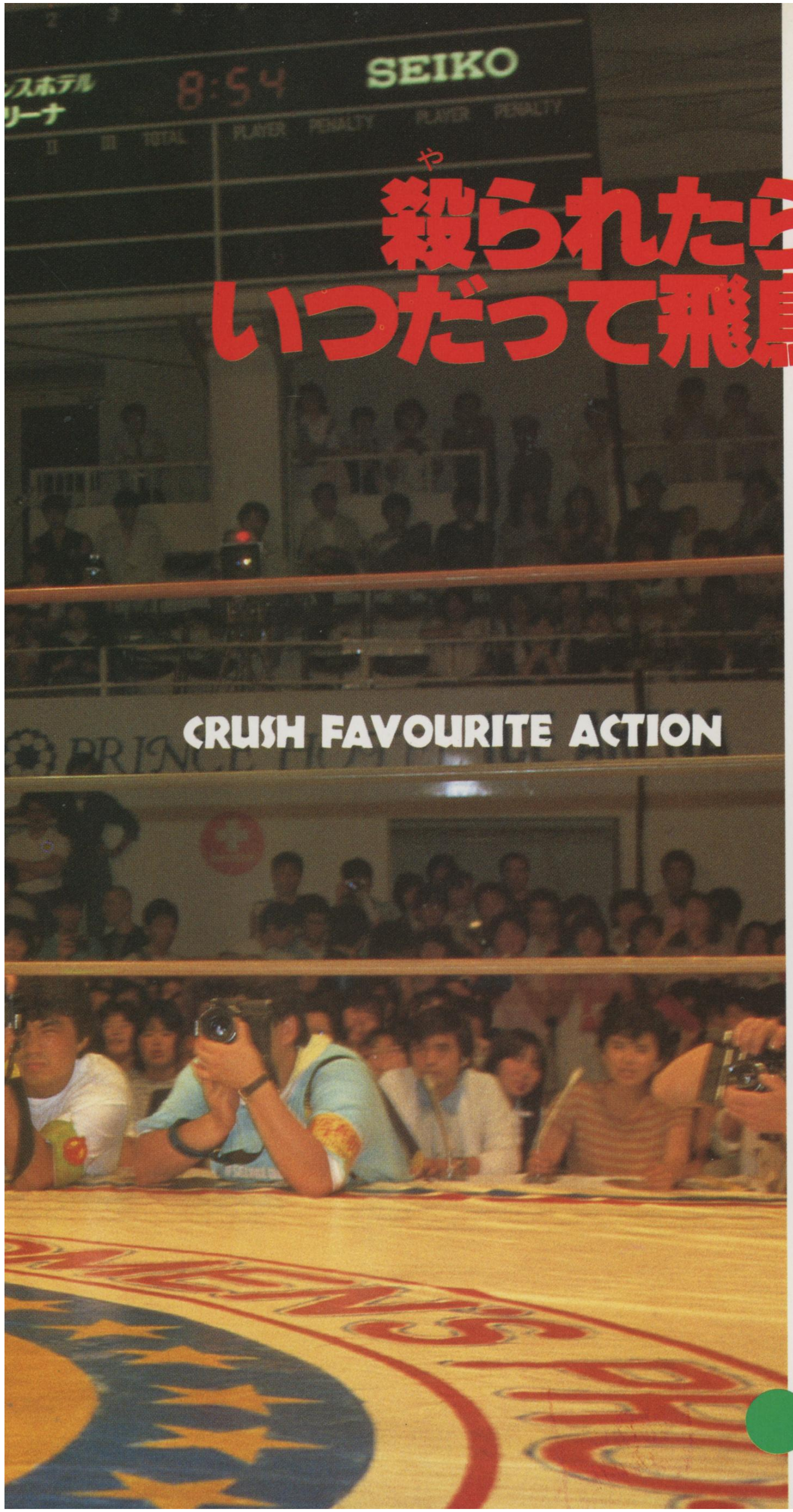
無限大に爆発する千種流原爆！



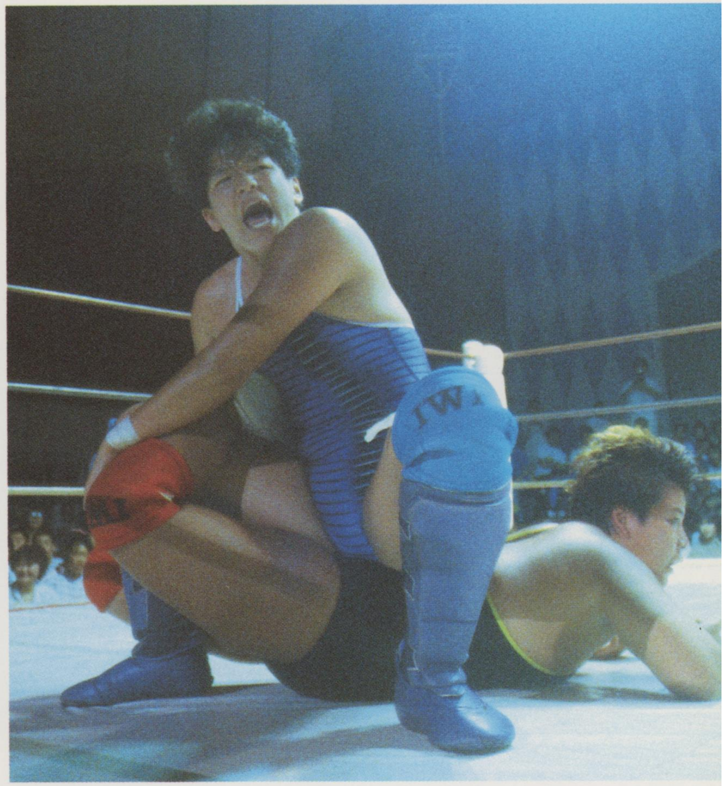
千種アクションの象徴がキックならば、そのポリシーは流星のような輝きを持つスープレックスである。千種は自分の可能性をスープレックスに賭け、次々にトライした。ジャーマンをはじめ、ハーフハッチ、リバースアーム・ソルト、ダブルリスト・アームソルト、ドラゴン、オリジナルのクラッシュ・スープレックスと、千種はスープレックスの使い手としては第一人者となった。そして、新たなる千種流原爆とは…!?

CRUSH FAVOURITE ACTION

殺(や)られたら殺(や)り返えせ、いつだって飛鳥は真実を追う！



CRUSH FAVOURITE ACTION



飛鳥の持つ恐さとは、その潜在能力にある。
体力・資質、これ以上のレスラーは類をみない。
その恐さをくすぐる相手との出会いが、飛鳥をより光らせるのだ。

サブミッションへの憧れ

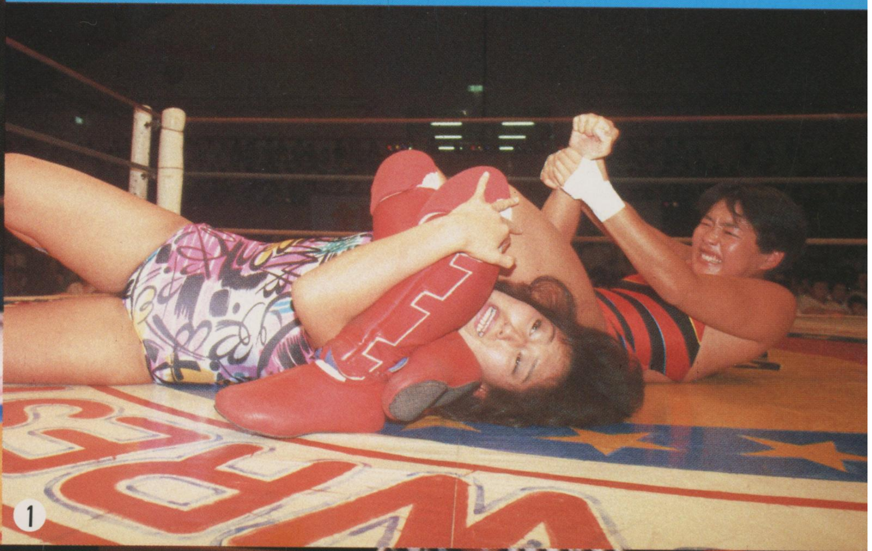
サソリ固め、反骨魂のプロローグだ

元来、派手なテクニック合戦を売り物にしていた女子プロレスに、関節技が披露された時は不思議な新鮮さを感じたものだ。ひと口に関節技といっても、その奥は限りなく深い。華麗さよりも"強さ"を選んだ千種は、見様見真似で関節の難技に取り組んだ。これは本物志向を持つ千種の、自己主張なのである。

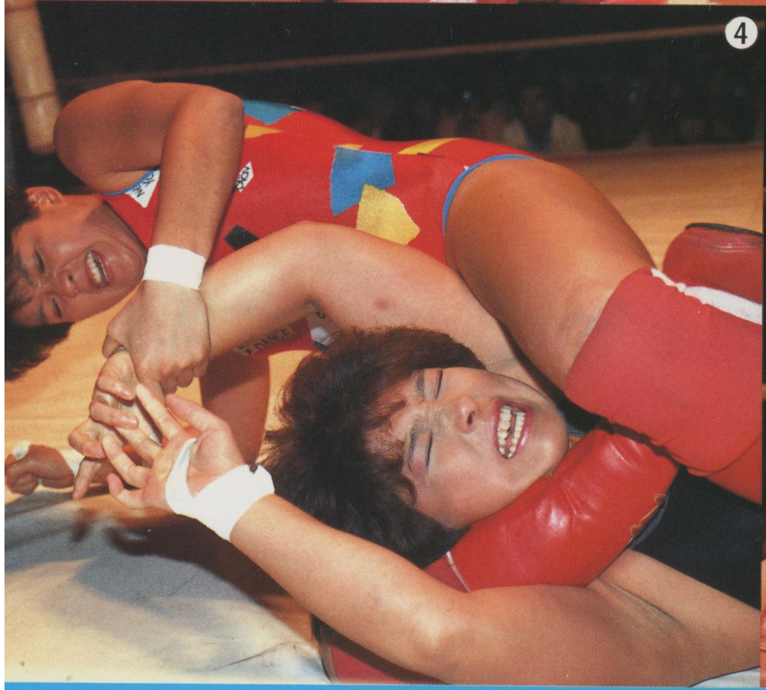
CRUSH FAVOURITE ACTION

1 腕ひしぎ逆十字固め
2 チキンウイング・フェイスロック
3 チキンウイング・アームロック
4 三角絞め

2



1


4

3

勝っても負けても感・動・美

怒りのクラッシュ、喜びのクラッシュ…いつだって完全焼燃するから、すがすがしい。さわやかさ、という財産を背負ったクラッシュの未来は、まばゆいばかりだ。

ちょっとコーヒーブレイク

(写真提供・ビクター音楽産業)

ファンに夢を与えて、自分たちの夢を実現している(千種)

飛鳥　早い…早いものでクラッシュ・ギャルズも結成2周年がたっちゃった。トンちゃんも、22歳になりました。

千種　チーちゃんは、まだ20歳だよ～ん。この肌の艶みてよ。トンちゃんとは、ちょっと違うもの。

飛鳥　何を言ってるの、このボーズが(笑)君は長与千種じゃなくて、長与洋(千種の弟)だ。

千種　ハッハッハ(笑)残念でした。ボーズは大阪城で終わったの。もう。すっかり髪の毛が伸びてきたしね。どんなヘアスタイルにしようか…なんちゃってね(笑)

飛鳥　そいつは、失礼しやしたぁ。どーして、このページでは最新の写真がないのだろうか…?

千種　それは、あたしにはワカリマセーン!

飛鳥　ところでさぁ、クラッシュ・ギャルズを組んでから、まさに時間との闘いだったね。自分の時間といえば…眠てるか、食べてるか、トイレしてるか、それに電話してるかぁーだもの。

千種　ンッまあ、トモはそんなに忙しかったわけ。チーちゃんは、ワケがわからなくて過ぎていった感じ。でもさあ、時時思うんだけど、自分たちはファンに夢を与えているでしょ。

飛鳥　うん、それで。

千種　それでもって、自分たちの夢も実現させている。

飛鳥　ベルトも取ったし、コンサートも

やったし、武道館で試合もしたし。充実してたよねぇ。

千種　やっぱし、クラッシュ・ギャルズに感謝しなけりゃいけないのかなぁ…

ウエンディに会って、お互いの成長度を確かめたい！(飛鳥)

飛鳥　その通り。メキシコにもいったっけ。インターナショナルだなあ、クラッシュって。今度はどこ行きたい？

千種　サイパンにいきたい。の～んびりボォーッとしてね。泳ぎたいだけ泳いで焼きたいだけ焼く。忙しさを忘れてね。

飛鳥　千種は海の女。でもトモも、ビキニは似合うけど…

千種　まあまあ、それ以上は言わんといてっ。プロレスでは、ニューヨーク！マジソン…スクウエア・ジャングル。

飛鳥　それはLPの題名。マジソン・スクウェア・ガーデンでしょ。

千種　そうとも言うね。でっかい、でっかいニューヨークで勝負したい。

飛鳥　相手はズバリ、ウエンディ。うーん、懐しい名前だなあ。会いたいねえ、ウエンディにさあ。

千種　出世したよウエンデイは。シンディ・ローパーとジョイントして一躍、アメリカン・ドリームだもの。ねえ、ウエンディて確か、千種たちと同期だよね。

飛鳥　そうそう。初めて来た時なんかさあ、こーんなに太っていて。お尻りなんかホントにでっかいの。テキサスの田舎のネーちゃんだったんだから。

千種　その素朴さがたまらなく、良かったんだよ。西部のカウガールってイメージ。それが今じゃ、完全にロックしてる。

飛鳥　久しぶりに会いたいし、お互いの成長度を見てみたい。

千種　こっちは天下のクラッシュ・ギャルズだよ。負けるもんか。

飛鳥　あっちは大都会ニューヨークだよ。

千種　大丈夫。こっちは、蓮田と大村の最強タッグなんだ。

ニューヨークの女帝、ウエンディ・リヒター

ベストバウトって、新人でももらえなきゃウソだ(千種)

飛鳥　さてー、話は国内に戻りまして。今年の新人は誰も脱落しないで、頑張ってるねえ。

千種　私たちの新人時代も13人いて、多かったけど…トモとは、ほとんど話したことなかったね。

飛鳥　あの頃は、A班とB班に分かれていたから。千種とは別々。

千種　こっちのB班は、いわゆる落ちこぼれ軍団。ダンプでしょ、ユウでしょ（笑）

飛鳥　それ言えてる！（笑）

千種　だから、人生なんて予想がつかないものなの。でもさあ、自分がこうして残るなんて思ってなかったなあ…

飛鳥　そんな意味では、ナッちゃんにももっとチャンスを与えてほしいと思う。

千種　ナッちゃん、バカ力だから恐いよおう。千種なんか吹っ飛ばされちゃうもの。新人といえば…毎年ベストバウト賞ってあるでしょ。あれね、新人でもいい試合やったら、もらえなけりゃウソだよ。

飛鳥　ベストバウトの基準というか。幅を広げるべきだね。レスラーだったら、この賞が一番の栄光だし…

千種　若手がね、がむしゃらに一生懸命やってる。夢中なんだよね。こういうシーンに胸が打たれるものなんだよ。

飛鳥　どうしても話題がリングにいっちゃうね。レスラーだから仕方ないか。

千種　えっ、私はトモに合わしているだけ。それじゃっ趣味の話しましょ。

飛鳥　千種の趣味って、教えて？

千種　知ってるくせに、何言ってるの。♬すみれのハァーナ、咲くころ～♬これだよこれ！

飛鳥　SKD！じゃなく宝塚。

千種　アッタリィー。もう私は、狂っています。宝塚ってねえ、あれは女のコの憧れですよ。カッコいいもの。

飛鳥　独特の世界だけど、夢の花園って世界だね。誰しも、変身願望ってあると思うの。それを満たしてくれるし…

千種　女子プロレスとは全然違うけど、面白いよ。ウン！

飛鳥　アッ、過激な格闘聖書を忘れちゃダメダメ！コーヒーブレイクはここまで。

千種　ちっとも、コーヒーブレイクになってなかったけどねえ。あとのページは純プロレス思想。ヨロシク！

風林火山

朝を語る！

ライオネス飛鳥

練習中「終わったら絶対に殺してやる！」って思うけど……

山崎先生と私たちの出会いは、先生がデイリースポーツの格闘技レポーターとして取材に来てた時からだから…今から3年ぐらい前になるかな。私は空手をやったことがなかったから、先生がどんな経歴を持った人か全く知らなかったし、あとで千種から聞いてビックリしたほどなんです。

千種と違い私にとって、空手は未知の格闘技だったから、先生の教えることがすべて新鮮でしたね。

先生がまだ東京で仕事をしていた頃、私たちがクラッシュ・ギャルズを結成したということで、ほとんど毎日道場に教えにきてくれました。バスが出発する前や、オフの時には必ず先生の顔を見ていたものです。

大宮の道場（日本空手道塾）にも、千種と二人でよく通ったっけなあ。2時間半、もう休まず基礎からやるんだけど「私たちはレスラーなのに、なんでできないのだろう…」そう感じるぐらいハードだった。練習中は「ちきしょう！　コノヤロー！　練習終わったら、絶対に殺してやる！」と思うけど…練習終わったあと、先生の嬉しそうな笑顔を見ると、「ああ、やって良かったんだ」と素直に喜べる。

そんな先生だから、本当に自分に対しても厳しい人ですね。それでかつ、自分が強いことをまわりにひけらかさない。本当の意味で強い人だと思いますね。

私たちが「練習したい」といえば、自分の時間を犠牲にして、練習をつけてくれる先生はクラッシュ・ギャルズの育ての親というか、大恩人です。

長与千種

師・山崎照

いつも〝ハートで勝負しろ〟と教えてくれる

空手を習う者にとって、山崎照朝の名前は絶対的な存在ですね。先生が極真空手の第一回全日本チャンピオンだったというのは有名な話だけど…極真の、空手を商売とする方向から飛び出して、独自のスタイルを打ち出しているのが先生らしいところですね。

こんなこと言って生意気かもしれないけど先生って、物事を純粋に考えている人だから私たちと話していても合うんですよ。目標というよりも、尊敬ですね。ちょっとスケベだけど…そこがまた好き(笑)。人間的にも、心を任かせられる人です。

それとね、先生は負けることの似合わない人。いつもクラッシュにはね〝ハートで勝負しろ〟って言っているけど、普段はサラリーマンみたいな感じなんだ。でも、サラリーマンが強いから面白いんだよね。

勝負する時も…千種たちやお弟子さんと闘うとニコニコしているけど、一瞬の技を決める時っていうのは、もの凄く鋭い顔をするんだ。それはもうハンパじゃないんだよ。だから強いんだよね。

絶対に油断を見せないし、何事にも徹している人。現役時代、キックボクサーを1ラウンドの始め頃にKOしちゃうんだから…。

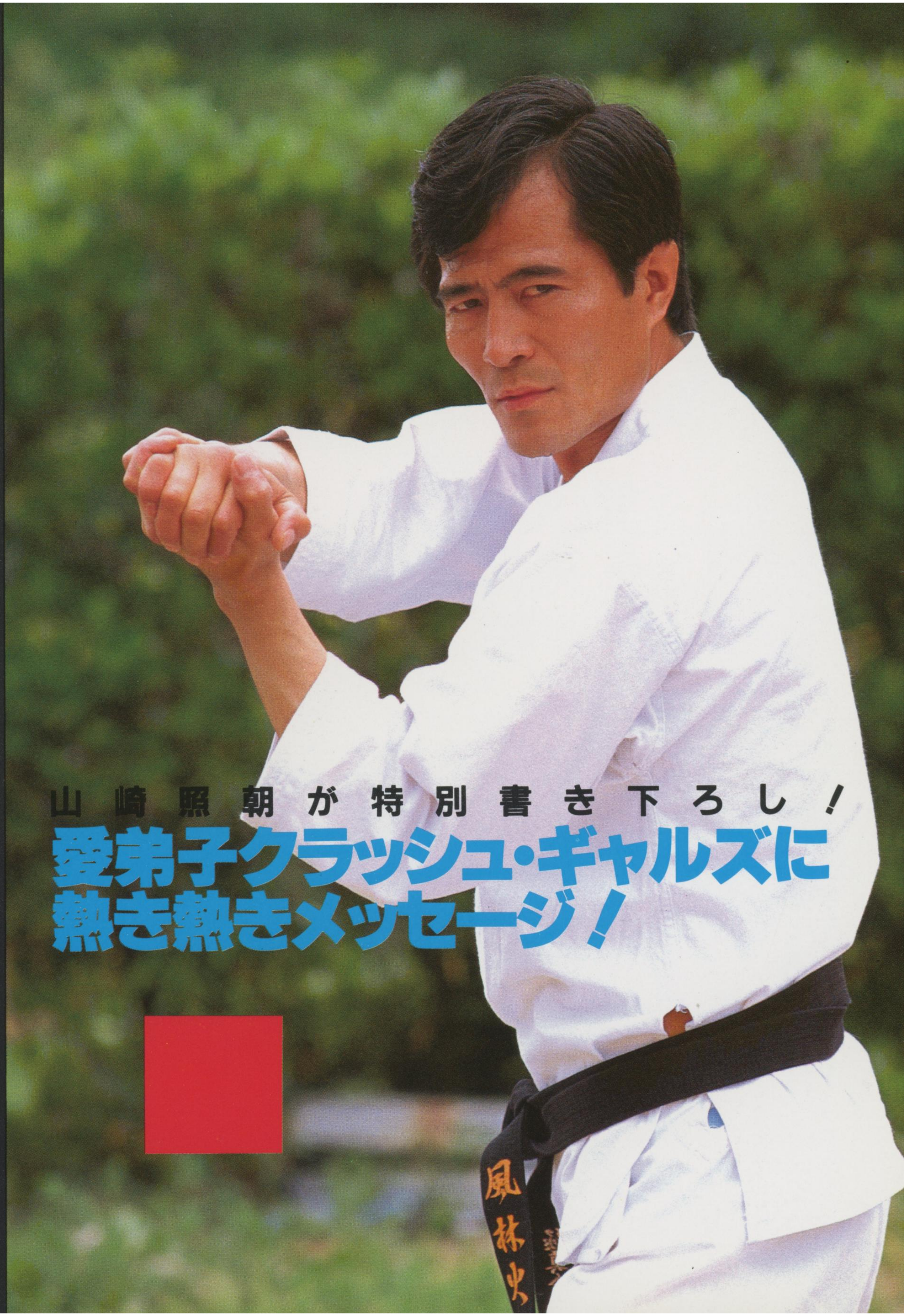
よく練習の帰りに、お弟子さんたちと「ロッテリア」に寄って、必ずシェイクを飲むの。ああいう強い人が、厳しい顔してシェイクだよ、信じられると思う？

私たちは忙しくなって以前のような練習はできないけど、先生から教え込まれた精神だけは胸に刻んで試合に望んでいます。また、汗を流したあの日に帰りたい！

勝負師の原点＝心・技・体が一体になってこそ女王になる価値がある！

山崎照朝が特別書き下ろし！

愛弟子クラッシュ・ギャルズに熱き熱きメッセージ！



これがホンモノの"飛び蹴り"だ！

武道館決戦では二人とも本当にすばらしい試合をしましたね。一万三千五百人の大観衆が足踏みして床を鳴らし、健闘を称える試合は、他の格闘技試合を含め、私はかつて見たことがありません。欧米では、心から感動するとあの様に床を鳴らして応えることはよくある光景ですが、二人がいかにすばらしい試合をやったかの証明でもあります。

たまたまこの日、私はテレビの特別解説でリングサイドで観戦させてもらいましたが、私も少々興奮気味でみんなと同じ様に床を踏み鳴らして応援したい衝動にかられました。

クラッシュ・ギャルズを結成して丸二年。メーンエベンターとしてこの大試合を務めた二人。"自分たちの時代を築くんだ"と夢を持ち続けた日本武道館だけに、さぞかし嬉しかったことでしょう。でなければあれ程観客を熱狂させる試合など演じられるはずがないと思うのが、師として携って来た私の実感でもあります。

戦士は常に強い者へのチャレンジに於いて燃えるもの。だが、同時に"戦場"の環境、雰囲気によって実力以上の力を発揮するのも事実です。

世代交代が囁かれた中で、結果は飛鳥も長与も共に"悲願達成"とはならなかったのですが、これは、飛鳥と長与以上に横田、デビルがこの日本武道館進出を"悲願"としてプロレス道を歩んで来た気迫が、クラッシュ・ギャルズの闘魂を超越したのだと私は見ています。

しかし、二人の天下盗りはこの日本武道館で見えたと私は感じています。

オールパシフィック王座を争った長与は、あの荒馬・テリー張りのケンカファイトでデビルの本性を引っ張り出して引き分けたし、WWA世界シングル王座に挑戦した飛鳥は、横田のスピードに負けない積極攻撃で、やや押し気味の試合内容。ここに次の対決での勝利の光明を

弟子のクラッシュが練習を希望するならば、どんな時でも道場に足を運んでくれる…これこそ過激なる師弟愛だ

辛く長かったWWWAタッグ王者への道—王座奪取で感涙するクラッシュを祝福する山崎氏。まるで我がことのように、笑顔を振り舞いていた

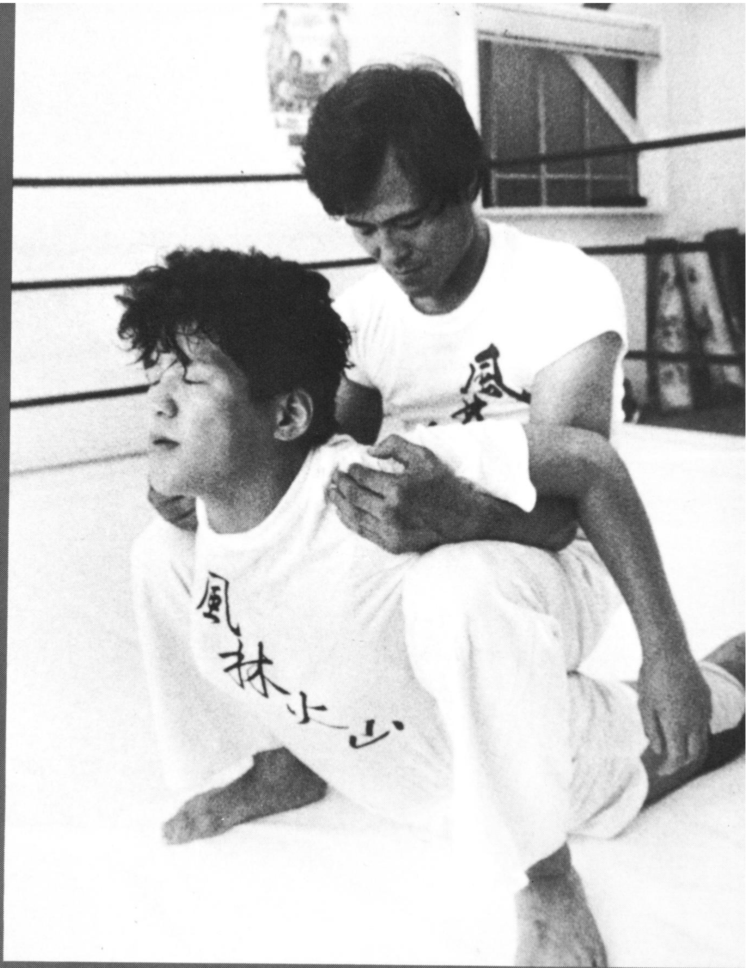
見いだすことができたからです。横田、デビルには申し訳けないが、もはやスピード、技、力においてクラッシュ・ギャルズは五分。勝るのは戦う〝心〟の差だけだと私は思っています。

二人が始めて風林火山の空手着を身に付けた日、私が「勝負は心でするもの」と言ったことを2人は覚えているでしょうか。あの頃は飛鳥も長与も前座試合から抜け出し、売り出し始めた時期です。上位との対決、体力づくりや新技開発にしのぎを削る特訓の明け暮れで、私の言った言葉を理解する余裕がなかったと思いますが、武道館決戦のビデオを観て、私の言葉が少しでも理解できたとしたなら、横田、デビルを倒す前に風林火山の空手は免許皆伝。再挑戦ではきっと二強の砦つぶしに成功するものと信じて疑いません。

思えば、デイリースポーツ紙上の格闘技レポーターとして飛鳥と長与に接した時から常にマスコミ記者たちの注目の的だった飛鳥と長与。飛鳥はWWWA世界シングル王者の横田をターゲットにして取材陣に舌を巻かせていたし、長与は得意の空手技を主武器に一世風靡の野望に燃えて革命を宣言。新人らしからぬ新人と異端児扱いされていたことも、夢を現実にした今となっては、胸を熱くするものがあります。

夢は大きければ大きいほどいい—私は空手の弟子たちに事あるごとに、こう語って聞かせていますが、思春期にデッカイ夢に燃え、女子プロレス入りを果した二人が、夢を実現して大活躍している姿を弟子たちに語る時、私は幸福感でいっぱいになります。それは、女子プロレスラー飛鳥、長与を例に挙げての少年少女たちへの熱いメッセージ。私はいつでも女子プロレスを語る一方で、精神面を大切に語りますが、二人が厳しい戦いの場にあっても苦しい練習に耐え、忍ぶ姿を特別コーチの肩書きで接して来た結果で

山崎氏とクラッシュの出会い…それは昭和58年8月、伊豆稲取合宿だった



もあります。ただ私の願いは、スターは通称〝アイドル〟という言葉で表現されますが、格闘技界で生きる二人は単なるタレント的アイドルであって欲しくないのです。

君たちはクラッシュ・ギャルズという戦士としてファンの前に立つ以上、戦う雄姿は正義の勇気であり、各種マスコミで活躍する姿は、努力の大切さを訴えるものであって欲しいと願うのです。

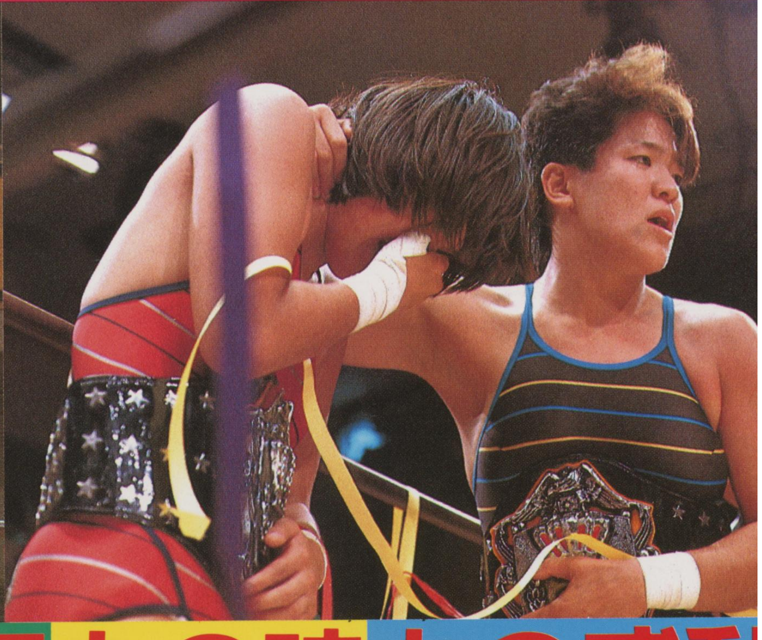
今、飛鳥と長与にあの世紀の一戦を行った日本武道館の大観衆を、リング上からどう受け止めたか聞いてみたい興味にかられています。一つは、二強の牙城崩しで女子プロレスの頂点に立つことができるかということと、もう一つは少年少女に勇気と夢を与えることができたかということです。「騏驎も老いては駑馬に劣る」と言います。武道館決戦で破れたとは言え、もはや世代交代は時間の問題。であるならば、王者としての姿、形を整える勉強もこれからの課題として大事な仕事の一つです。横田がＷＷＷＡ世界シングル王座を五十六年にジャキー佐藤から奪って、通算十一度目の防衛を重ねていますが、これも〝勝って兜の緒を締めよ〟の気迫を忘れることなく、常にその日の試合を振り返り、リングに立っているからにほかならないと思います。

今、クラッシュ・ギャルズ人気はまだまだ上昇気流の中にあります。二人が武道館決戦を前に勝つため、またファンが喜んでくれる試合のために私に特訓志願を申し出たことは〝実るほど首頭を垂れる稲穂かな〟の格闘戦士の心からです。強い者ほど、優しい心の持ち主であることを、極悪同盟との死闘の中で女子プロファンにアピールして欲しいものです。

柔よく剛を制すー勝負師の原点は心・技・体。これが一体になってこそ女王になる価値があることを、極悪抗争の悲情のリングから会得されることを願っています。

CRUSH MEMORIAL

～タッグ結成から現在まで～



あの日あの時あの感動

★昭和58年8月27日＝東京・後楽園ホール

クラッシュが誕生した運命の日

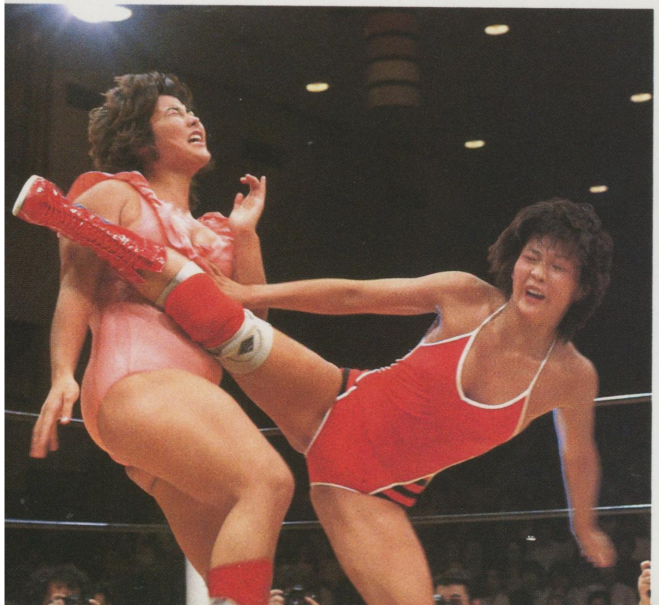
▶WWWAタッグ選手権試合60分３本勝負

ジャンボ堀 大森ゆかり	（２―１）	ライオネス飛鳥 長与千種

①飛鳥（体固め、14分）大森
②堀　（体固め、９分11秒）長与
③大森（体固め、６分27秒）長与

「女子プロレスの流れを変える」この合言葉を胸に、飛鳥と千種はクラッシュ・ギャルズを結成した。年功順列・善と悪の図式など、これらをぶち壊わすことが心と心を結び付けたのだ。当時、最強タッグを誇示していた堀&大森組に挑戦―見事に玉砕したが、完全燃焼で乗りまくったクラッシュに観客は狂喜し「もう一回」コールが場内を木霊した。ベストバウト賞を受賞した。忘れえぬ名勝負。

▲ダブルサソリ地獄―とにかくクラッシュの技は全てが新鮮だった



▶伊豆特訓で初めて空手を習った飛鳥は、カウンターチョップを試みる

◀初めてメイン出場を勝ち取った千種の気合いは凄かった

昭和58年12月9日＝千葉公園体育館

止まらぬ勢いでタッグ初制覇

▶フジＴＶ杯争奪タッグトーナメント
決勝戦60分３本勝負

ライオネス飛鳥 長与千種	（２－１）	デビル雅美 山崎五紀

①長与　（体固め、８分55秒）山崎
②デビル（体固め、５分18秒）飛鳥
③飛鳥　（体固め、５分14秒）山崎

結成以来、ほとんど毎日タッグ戦を闘い鍛え抜かれたクラッシュは、人気が高まるにつれ、破天荒なファイトに拍車をかけた。その意味で、タッグトーナメントは実力試しの晴れ舞台となった。もはや止まらぬ勢いには、デビル＆山崎の〝女師弟コンビ〟とて敵ではなかった…この優勝を背に翌年正月タッグ王座に、再度チャレンジしたのだった。

▶コーナーポストからハイジャンプしてのラリアットをはなつ飛鳥。飛ばずにはいられない。
◀千種がサソリに入ると、飛鳥はサソリ弓矢固めでフォロー。〝二人掛かり〟のプロレスは時代を突き抜けた。

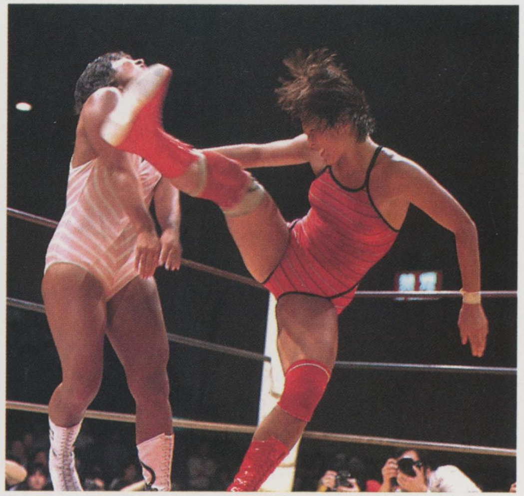
★昭和59年6月28日＝川崎体育館

女帝コンビの壁に肉迫！ そして並んだ夜…

▶特別試合30分1本勝負
ライオネス飛鳥 （時間切れ） ジャガー横田
長与千種 （引き分け） デビル雅美

"夢の対決"時間切れノーフォールとなったが試合後に明暗がでた。余裕のVサインをカメラに突き出す、ジャガー＆デビル。片や控室でぶっ倒れるクラッシュ、上昇一途のクラッシュにとっては、冷水をかけられたような、力の差を身体中で感じずにはいられなかった。だが、めまぐるしくプライドとプライドが、激しく交差した4者の心模様は、すがすがしさにあふれていたに違いない。

これが力の差なのか!? 隠れたタッグのベストバウトとして、4者の個性がぶつかり合った



▲千種の18番、後ろ回し蹴りが女王・ジャガーにクリーンヒット
◀若さにまかせて恐いものナシ！ 当時のクラッシュはエネルギュッシュの塊だった

CRUSH MEMORIAL

★昭和59年8月25日＝東京・後楽園ホール

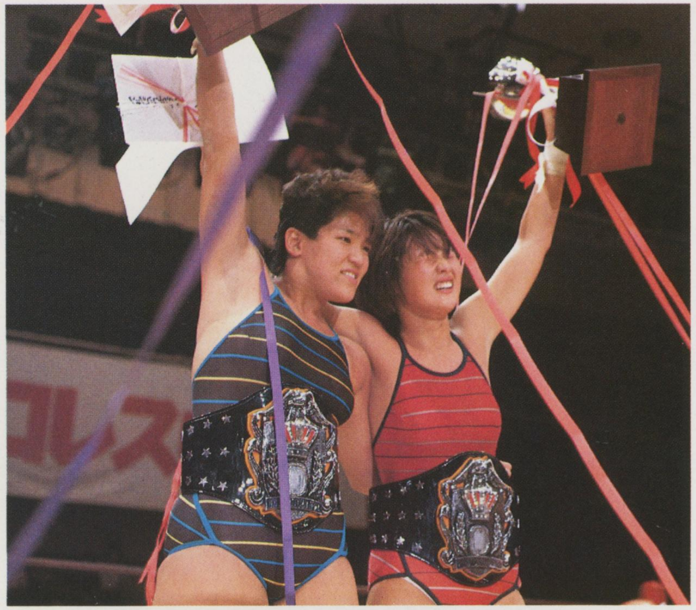
クラッシュ伝説の幕明け！ 涙の王座奪取

▶WWWAタッグ選手権試合60分３本勝負

ライオネス飛鳥　　　ジャンボ堀
長与千種　（２―１）　大森ゆかり

①飛鳥（体固め、11分０秒）堀
②堀　（体固め、２分38秒）飛鳥
③長与（原爆固め、５分35秒）大森

タッグ結成１周年、３度目の挑戦、デビュー曲の発表…クラッシュにとって、これ以上思い出に残るメモリアル・デーはない。女子プロ界の“名勝負数え唄”といわれる堀＆大森との対決に一つのピリオドが打たれ、新しいパワーが形＝ベルトを残した。泣きじゃくる千種をサポートする飛鳥…こんなにいい涙、そして光景は永遠にファイルしたい。



ベルトを取ることが、こんなにも長く辛いものなのか…

▶フィニッシュは千種のジャーマンが爆発。最も得意な技で勝ち取った、こんな嬉しいことはない

◀大一番になるにつれ、回転数が増す飛鳥のジャイアント・スウィング。ひとまわりするたび、王者へ近づくようだった

★昭和59年10月6日＝東京・後楽園ホール

ダンプが乱入!? 流血地獄の末、王座V死守

▶WWWAタッグ選手権試合60分３本勝負

ライオネス飛鳥 長与千種	（2—1）	ラ・ギャラクティカ ローラ・ゴンザレス

①長与（体固め、10分９秒）ゴンザレス
②ゴンザレス（体固め、６分30秒）長与
③飛鳥（片エビ固め、８分42秒）ゴンザレス

２年間の闘いのページを振り返っても、極悪同盟との一連の抗争をのぞけば、これほど興奮し舞い上がった試合もないだろう。メキシコを代表する二強に、ダンプとユウの極悪が合体。まるで生き地獄をみるかのごとく、飛鳥の額は血の雨に落とされたが…もはや気力だけで立ち向う飛鳥に、クラッシュ魂が蘇がえり大噴火。初防衛は限りなくエキサイトした。

▶なぜ、これまで傷つくのか！ 飛鳥、絶対絶命のピンチ

▼憎悪がダンプを動かせた

▶手の合わない千種は、容赦ないキックで蹴りまくる

▼大流血の中、飛鳥は不屈の根性で勝利を握りしめた。ラフバウトに強いことを立証

CRUSH MEMORIAL

★昭和60年1月5日＝東京・後楽園ホール

第一次世代闘争は、クラッシュの貫禄勝ち！

▶WWWAタッグ選手権試合60分３本勝負

ライオネス飛鳥
長与千種
（2－1）
山崎五紀
立野記代

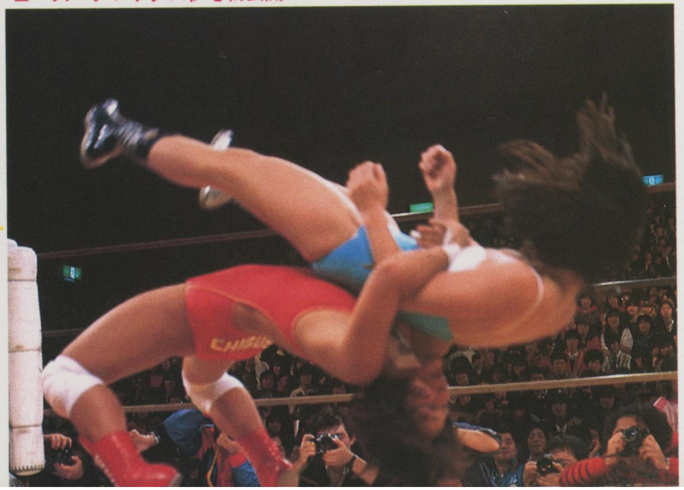
①山崎（片エビ固め、12分25秒）長与
②飛鳥（体固め、３分15秒）立野
③長与（クラッシュ・スープレックス ２分55秒）山崎

クラッシュ＝女子プロレスの、行方を左右するのは新たなるライバルの出現である。山崎＆立野は〝ポスト・クラッシュ〟の筆頭だがファンに訴える、インパクトが希薄だ。だから、ハッキリした闘いのビジョンを掲げなくてはならない。しかし、この対戦は最もスピード感とハイテクニックがミックスしているため面白さでは群を抜いているのだ。千種のオリジナル原爆で新年の幕が切って落された。

善戦健闘の山崎＆立野を称えるクラッシュ。新・名勝負数え唄のスタートである

◀連係プレーでは、クラッシュが一枚も二枚も上。千種が立野を捕えると、飛鳥がすかさずダイビング・エルボー！

▼スープレックスの完成に情熱を賭ける千種は受け身のとれない〝クラッシュ・スープレックス〟を初公開



★昭和60年2月25日＝東京・大田区体育館

屈辱の幕切れ、クラッシュ血の海に散る！

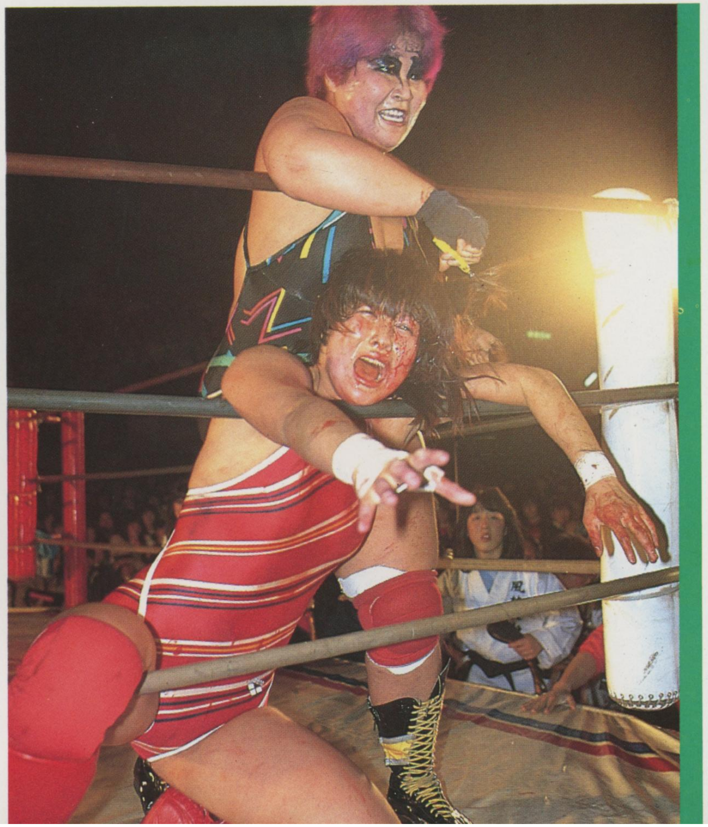
▶WWWAタッグ選手権試合60分３本勝負

ダンプ松本 クレーン・ユウ	（２―１）	ライオネス飛鳥 長与千種

①ユウ（リングアウト、11分29秒）長与
②長与（体固め、０分54秒）ユウ
③ダンプ（体固め、４分40秒）長与

クラッシュＶＳ極悪同盟といえば、名物カードである。だが、凶器づくしで勝負する極悪を相手にした時のクラッシュは、なぜか空しい表情をみせる。血で血を洗う抗争は果てしなく続くが、そこには新しい夢が生れないからだ。王座を明け渡した夜は、エスカレートの頂点をいった流血ハードマッチだった。力対力で結着をと念願する、クラッシュにとってこの上なく屈辱を浴びたのだ。

▶悔しい！なぜ、こんな試合をしなければならないのか（千種）

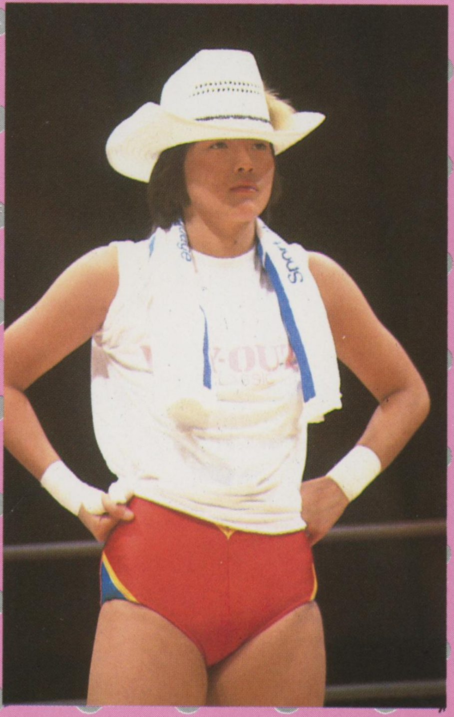


▲覆面マネジャーの荷担は、勝敗に大きく影響。目に見えぬ敵が多いのが敗因でもある
▶ダンプはハサミを使い、千種の髪を切りまくった

CRUSH FASHION

さりげなく過激！これぞ格闘着だ

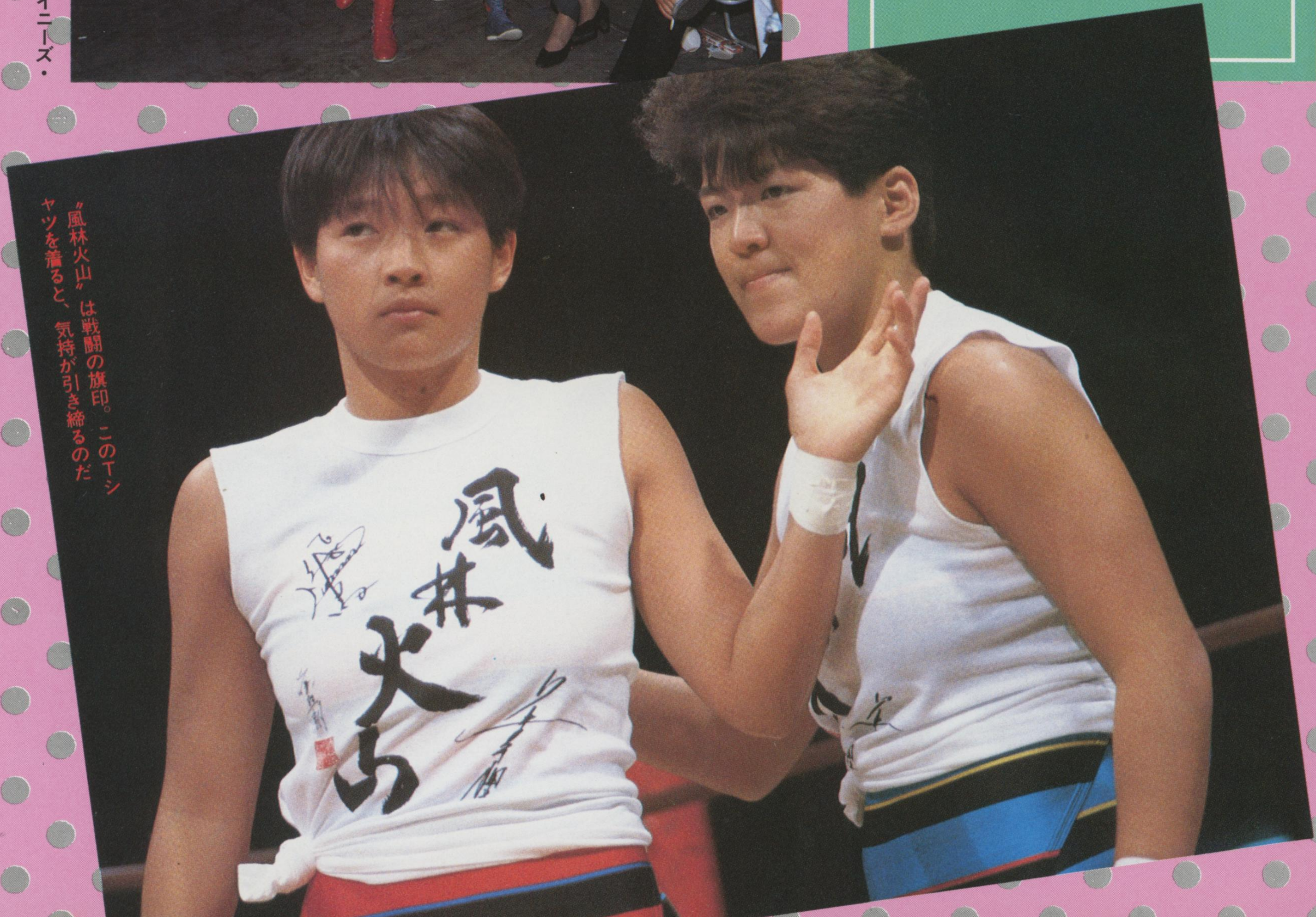
クラッシュのトレードマークといえば、なんたって空手着だ



ストローハットが、たまらなくみずみずしい

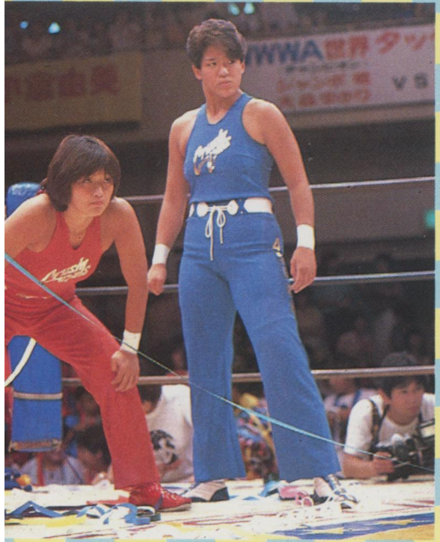
「女子プロレスの流れを変える」と宣言したクラッシュ・ギャルズだが、それは試合ばかりではない。従来、女子レスラーの〝見せ場〟の一つであったリング衣装に対しても、斬新なアイデアで勝負したのである。〝レスラーは試合内容〟とばかりに、派手なコスチュームを否定した…そのファッションの一つ一つには、クラッシュ・ギャルズのさりげない主張が、盛り込まれているのである。

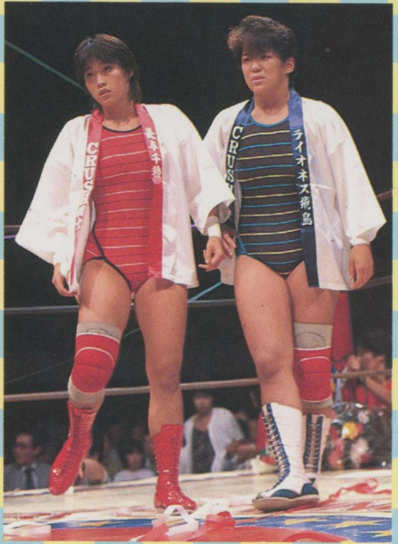
これは懐しい!クラッシュ結成初期に愛用したチャイニーズ・ガウン。フレッシュ度100%



〝風林火山〟は戦闘の旗印。このTシャツを着ると、気持が引き締るのだ

CRUSH FASHION

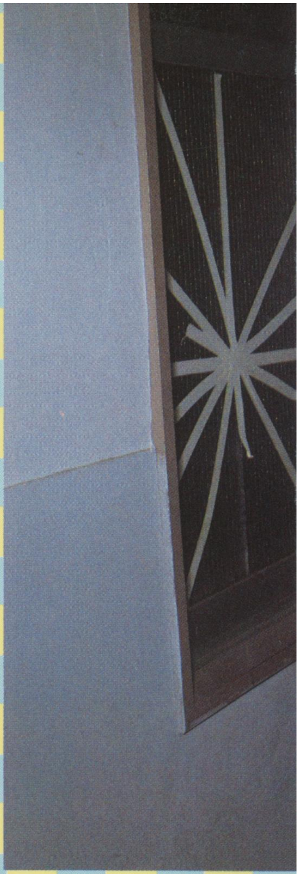




ファンから贈られたハッピ風ガウンを着て

時にはフツーのコスチュームだって似合う

〝革命戦士〟にふさわしいコマンド・ルック



タオルを引っかけ殺気みなぎる試合前

WWWAタッグ王座を獲得した時に、着用したマーシャルアーツ・タイツ。思い出の一着だ

クラッシュ革命　ベストショット

夢の入口は、いつも孤独の風が吹く
理想のプロレスを追い求める胸中は複雑だ
二匹の竜が今、女子プロレスを変えた…

ライオネス飛鳥VS長与千種…この試合を人は〝クラッシュ対決〟と呼ぶ。理想を追い求めて共闘を組んだクラッシュ・ギャルズ。充来の女子プロレスは、華やかでスピードアップされた、独自の世界を作り上げていた。だが、そこは女子プロレスという、プロレス界全体から見渡せば隔離されたものにしか過ぎなかったことを二人は知っていた。

特に千種はこの意識が強く、女子プロレスだけの世界を抜け出ることに必死だった。女子プロレスのファンは、レスラーをアイドル的に視覚する傾向が強い。これは時代が要求した最も事実な色合いだ。レスラーとてエンタテイメントとしての、才能がなければ明るい光を受けることはできなくなったのである。

〝強い人間〟をめざしてレスラーになった千種は、サンドバックを蹴りまくり強靭なブリッジで首を鍛え、各種のスープレックスをマスターしていった。

それをリングで実践したい―千種の夢とは、女子プロレスの中だけで評価されるのではなく、一プロレスラーとして認められることなのである。そのために最も奥義が深いといわれる関節技に対しても、見様見真似でトライした。

ひと口に関節技といっても、グランドでのインターバルとは意味が違う。一ミリでも狂ったら効かないのである。クラッシュにとって、関節技はまだまだ発展途上の技だろう。

その点、飛鳥は千種ほど〝格闘技〟に固執していなかった。なぜなら、彼女には天性の恵まれた資質があったからだ。

強くなりたい人間と、すでに強さを身に付けている人間とでは、意識のバランスがズレても仕方ないことだ。

しかし飛鳥は、千種との出会いによってプロレスには〝格闘性〟が必要なことを身体で知ったのである。レスラーとして平穏なファイトをしていた飛鳥にとって、千種の気迫は殺気と必死が交差してみえたのだ。

素直にレスラーとしての喜怒哀楽を表現できる千種。強さは表現できるが、レスラーとしての生き様を投下できない飛鳥は、悩み苦しんだ。

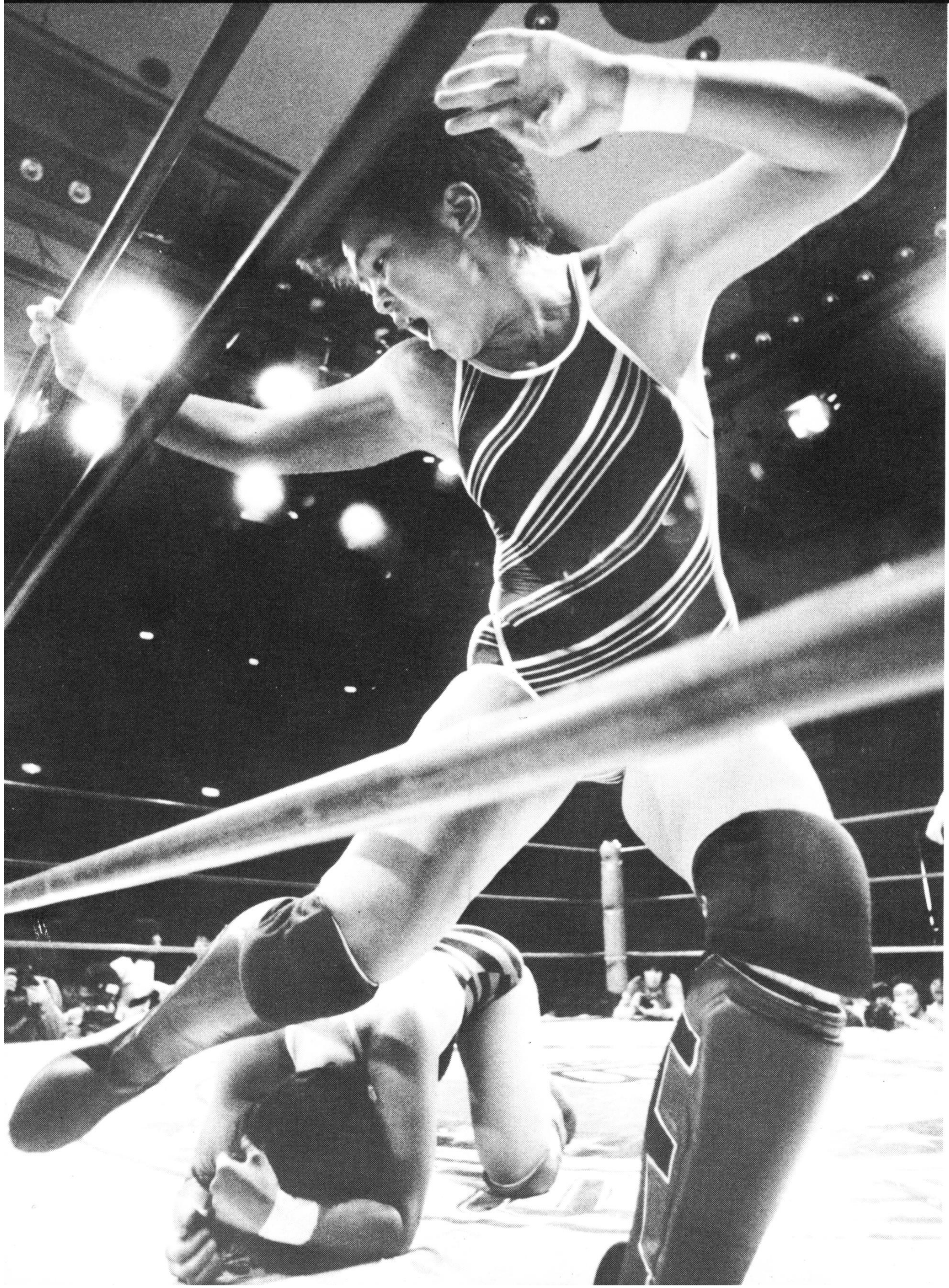
昭和58年1月4日…全日本王者の飛鳥に千種が挑戦。当時、けして技の数が多くない二人は、がむしゃらに平手を張り合うしかなかった。プロレスラーは、観客にはわからぬほど、繊細な神経を使って試合をする。どんな状態でも対戦者との相関関係を描いているのである。

だが、飛鳥と千種の闘いにはレスラー間の掟は不用だ。ルールなきルールを心の奥にしまい、闘うのである。

思い切った遠慮なしのプロレスがしたかった千種と、プロレスをアートできず苦闘していた飛鳥。運命の出会いは、二人を急接近させるに充分な材料があったのだった。

そして昭和60年4月7日…この日二人は、二人だけの個人的な時間を久しぶりに肌で確認し合ったのだ。確かにコンビを組んで約2年、いろいろなことがあった。試合のこと、芸能の仕事のことで論議したのは一度や二度ではなかった。

だが時がたつと人は、自分の生き方を



見つめ直す。思想というのは、置かれた立場や環境によって変化するものだ。まして2年前と現在とでは、まわりの状況が急変しているのだから…

30分時間切れ―それは、あまりにも短かい勝負だった。いや、短かく感じるほどの充実感と新しさが入り混じっていたのである。シューティング・シューズでの蹴り合いと、関節の取り合いをベースにプロレス流の決め技の応酬。

これほど一つ一つの技に、大切な思いがこめられた試合は、かつてなかった。闘うことで「これが私たちのやりたいプロレスなんだ！」と実証したばかりでなく、お互いの心のモヤモヤを吹き飛ばしたのである。

女子プロレスの華麗さに、UWFのシューティングを連想させる緊張感、そして格闘技としての空手を、クラッシュ流にミックス。飛鳥と千種の二人にしかできない女子プロレスを、かいま見た貴重な時間だった。

「負けたらまた出直せばいい。だから負けることは恐くない。」これは前田日明の名セリフである。クラッシュの精神はこの言葉と同様、勝ち負けという次元を越した。すがすがしさが信条だ。

理想が完成しないから、クラッシュらしさがある。だからクラッシュのファイトは目が離せない。

千種に緊急インタビュー

武道館・大阪城の2大勝負を終え、〝革命娘〟千種は新たに何を思う…

デビルとの凄絶なダブルKO劇、そしてダンプとは屈辱的な断髪敢行—いま千種の脳裏に去来するものは、いったい何なのだろうか？！夏が去り、レスラー千種には一つの区切りがついた。その核心部分に肉迫する、本音チャレンジ・トーキング！

ファンの涙…感無量だね。◐よーし、ビューティ・ペアを超えてやる！

——今年最大の試合ともいえる、武道館そして大阪城ホールでの2大決戦を終えた今、どんな心境かな？

千種　たった一週間で、半年分の体力と精神力を使い果したって感じかな…武道館の結果（デビル雅美の持つオール・パシフィックに挑戦し、ダブルKOで引き分ける）は、勝つことはできなかったけど、自分自身はわりと冷静に受けとめているんだけどね。今までの私というのは、勝ち負けにあまりこだわっていなかったところがあったんだ。でもね、ああいった大舞台に上がると、勝たなければというか、勝ちたい！　という思いが強くなるんだよね。

——それは、王者の手答えを感じたからじゃないかな。

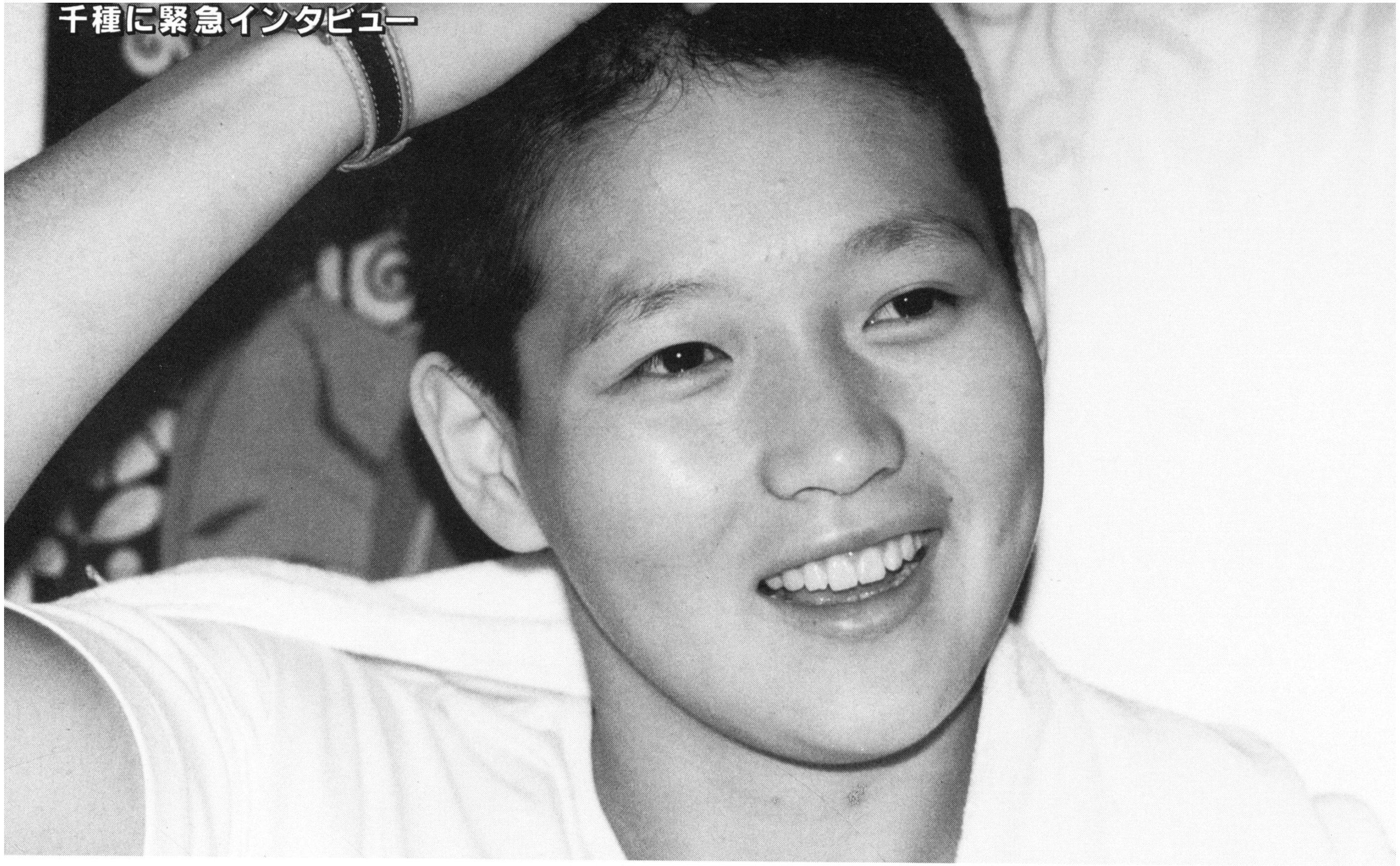
千種　う～ん、なんて言うのかなあ。デビルさんの強さ、そう、デビルさんって強い人ですよ。だから、強いデビル雅美を倒したい—と言ったほうがいいかなあ。やっぱし、武道館の大観衆を前に試合をすると〝天下を取りたい！〟って気持になりますね。結局、試合内容が大事なんだけど…評価というのは、勝った、負けたが第一に思われるしね…レスラーだったらね、武道館で試合をするのが夢だけど、いざ上がったら勝ちたいですよ。

——大阪城ホールは、あまり後味がいい結果じゃなかったね。

千種　あれは負けじゃないんですよ！　だいたいプロレスになっていないもの。お互いに技なんか、一つもでてないじゃない。あんな裁定をされちゃったら、何のために〝髪切りマッチ〟に臨んだか、意味がなくなってしまうね。

——だいぶファンを悲しませたのも事実だね。

千種　小さい女のコたちが、私が坊主に



なったことで大勢泣いているの。それを見ているとね「ああ、私たちはこのコたちに夢を与えているんだなあ」と改めて感じちゃってね…私たちって、夢を実現させる代表者なんだなと。昔、ビューティ・ペアに憧れた一人の少女（千種のこと）が今度は、ファンに夢を提供している。なんて言ったらいいのかなあ、感無量だね。よーし！　ビューティ・ペアを超えてやるぞおって、胸が熱くなっちゃうよ。ホント泣かせたことはお詫びしたいけど、この涙を無駄にしたくないねっ。

——坊主になったってことは、精神的に相当ショックだったんじゃないの？

千種　弟がね、ダンプと坊主マッチをやる日の朝にね「姉ちゃん、もし負けて坊主になっても、恥しいのはその時、一日だけだよ」といってくれたの。でもね、坊主頭になると、おかしいぐらい弟に似てるんだよねえ。私自身、弟に夢を託している部分があるから、似てると言われると逆に嬉しくなっちゃう。今度はね、強い姉ちゃんを見せてあげなくちゃ。

——日本の2大会場を制したわけだけどこの次は、どの会場で試合をしたい？

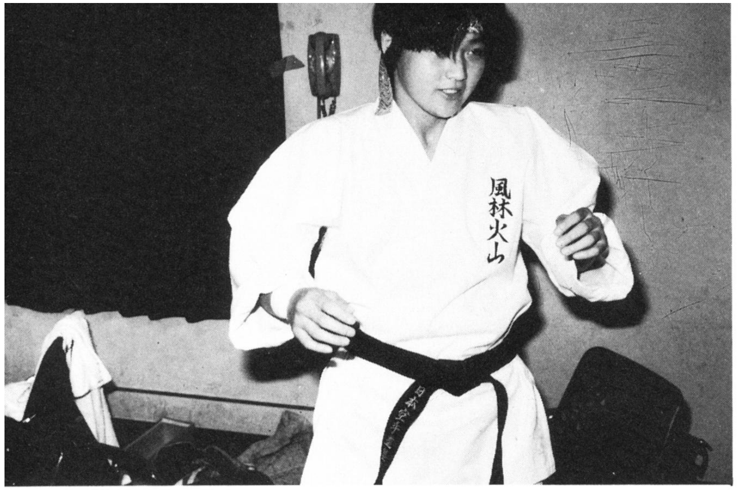
千種　国技館とかね…この前ね、身体が不自由で試合を見に来れない人のお母さんが「あまり命が長くない…」と言って泣きながら、千種たちのサインを貰いにきたの。TVでしか試合を見ることができないしというのよ。だからね、そういう身体の不自由な人たちだけを集めて、そういう人たちだけに、千種たちのプロレスを見せたいんだ。その人たちも、ファンなんだからさ。ぜひ、やってあげたいんだ。

じわじわ恐怖を与えるレスラーをめざす！

——クラッシュ・ギャルズの今後をどう展開したいと思っているの。

千種　今のクラッシュ・ギャルズというのは、本来のクラッシュの線路から脱線

千種に緊急インタビュー



しているから、クラッシュらしさがないね。クラッシュらしさというのは、常にチャレンジ精神、攻撃的で突っ込んでいくところなんだ。でも、へんに構えてしまっている。

——なぜ、構えるのかな…

千種　芸能の仕事をやってると、疲れるって頭があるから、試合で突っ込んでいけないんだ。疲れていると、誰しも身体が動かないし…クラッシュらしさを取り戻すには、芸能の仕事を半分に減らすのがベターだと思うし、そうならなければこの試合スケジュールをこなしていけないよ。

——その通りだね。でも人気が出て顔が売れてくると、いろいろな対人関係が生じるから、すぐ半分に減るというのは難しい問題だね。

千種　これは私たちがいくら訴えても、解決することじゃないけど…ただ、私はファンの人がね、アイドル・タレントを見るような雰囲気は耐えられないんだ。私たちって、いくら試合をすることに慣れているからといっても、一歩間違えれば命の保障はないからね。いわば、身体を削ってるようなものだから、一つ一つの試合を真剣に見て、喜んでもらいたいという思いが強いんだ。

——話は戻るけど、クラッシュ・ギャルズとしての方向性をどう捉えているかな。

千種　やっぱりね、ライオネス飛鳥・長与千種である前にクラッシュ・ギャルズとしての位置付けに重点を置きたい。ビューティ・ペアが〝一世風靡〟して大きな歴史を作ったように、それを上回る歴史を作りたい！　クラッシュ・ギャルズの天下を取りたいね。もし天下が開けたなら、またトモと納得のいくまで闘ってみたい—私は今まで、何でも突っ張ねてきたし、がむしゃらに時がたってきたような気がする。さっきも言ったけど、これからは〝勝つ〟ことを頭に叩き込んで、じわじわ恐怖を与えるレスラーになりたいね。

人間としての本物の〝強さ〟を身に付けたい！

——後輩の小倉由美や、永堀一恵が空手修業をしていることについてどう思う。

千種　ゴンゴン（小倉）は、一生懸命やるコだから、何事も考え過ぎるところがあるんだ。千種も割と神経質なところがあるけど、ゴンゴンはもっとリラックスして、いろんな事を見つめたらいいんじゃないかな。空手というのは、ゴンゴンにとっていい刺激材料になると思うね。クラッシュ・ギャルズの流れに乗っかっているのは、ゴンゴンぐらいだし…でも同じ流れというのは個性的じゃないけど山崎先生の夢をいつまでも、受け継ぐ者がいなくちゃね。

——永堀も、後ろ回し蹴りとか日に日に上達しているみたいだけど…

千種　後ろ回し蹴りというのは、私がデビューしてからクラッシュを結成するまで、ただ一つの得意技だったんだ。今でこそ、スープレックスとかやるけど、それまでは回し蹴りしかなかったし…たった一つの技に、千種なりの魂をこめてきたつもり。だから一恵にはね、それぐらいの気持でこの技を使ってほしいな。単純に言っちゃえば、回し蹴りというのはプロレスでいうドロップ・キックみたいな必修技だけどね。ドンドン使えばいいんじゃないかな。またデビルさんとの試合の話になっちゃうけど…デビルさんがボクシング流のパンチも使ったでしょ。私はボクシングをやったことがなかったから、あのパンチは凄く効いたんだ。でも…パンチよりキックの方が、数倍威力があることを頭に入れといてほしい。それだけ、空手というのは凶器なんだよね。一恵は、空手を使えるんだからもっと自信を持たなくちゃ

——最後になるけど、千種にとっての格闘バイブルとは何かな。

千種　誰でも「強くなりたい！」という気持ってあると思う。人それぞれ、なぜ強くなりたいのか—それは様々だけど心の底には、強さを求めている。例えば精神面がすごく強い人は次に、肉体も強くなりたいと思う。それは逆の場合もあるけど…格闘というのは何もリングの上だけじゃなくて、普段の生活でもたえず格闘がつきもの。つまり、どんな状況になっても強い人間というのは魅力的だもの。千種も、ただプロレスが強いだけじゃなく人間としての本物の〝強さ〟を身に付けたいんだ。それが、千種にとっての格闘バイブルじゃないのかなあ…

WINNING PHOTO

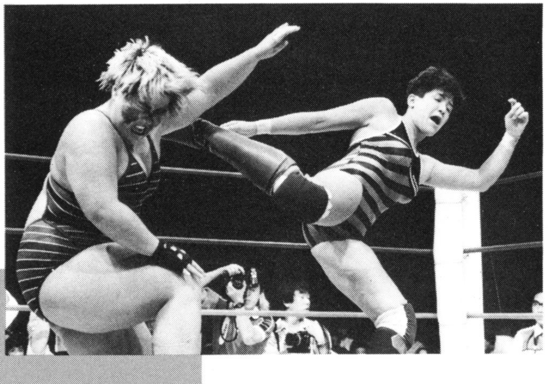
ウイニング・フォト

★'85ジャパン・グランプリ優勝決定戦

VSダンプ松本

昭和60年6月25日＝品川プリンスホテル・アイスアリーナ

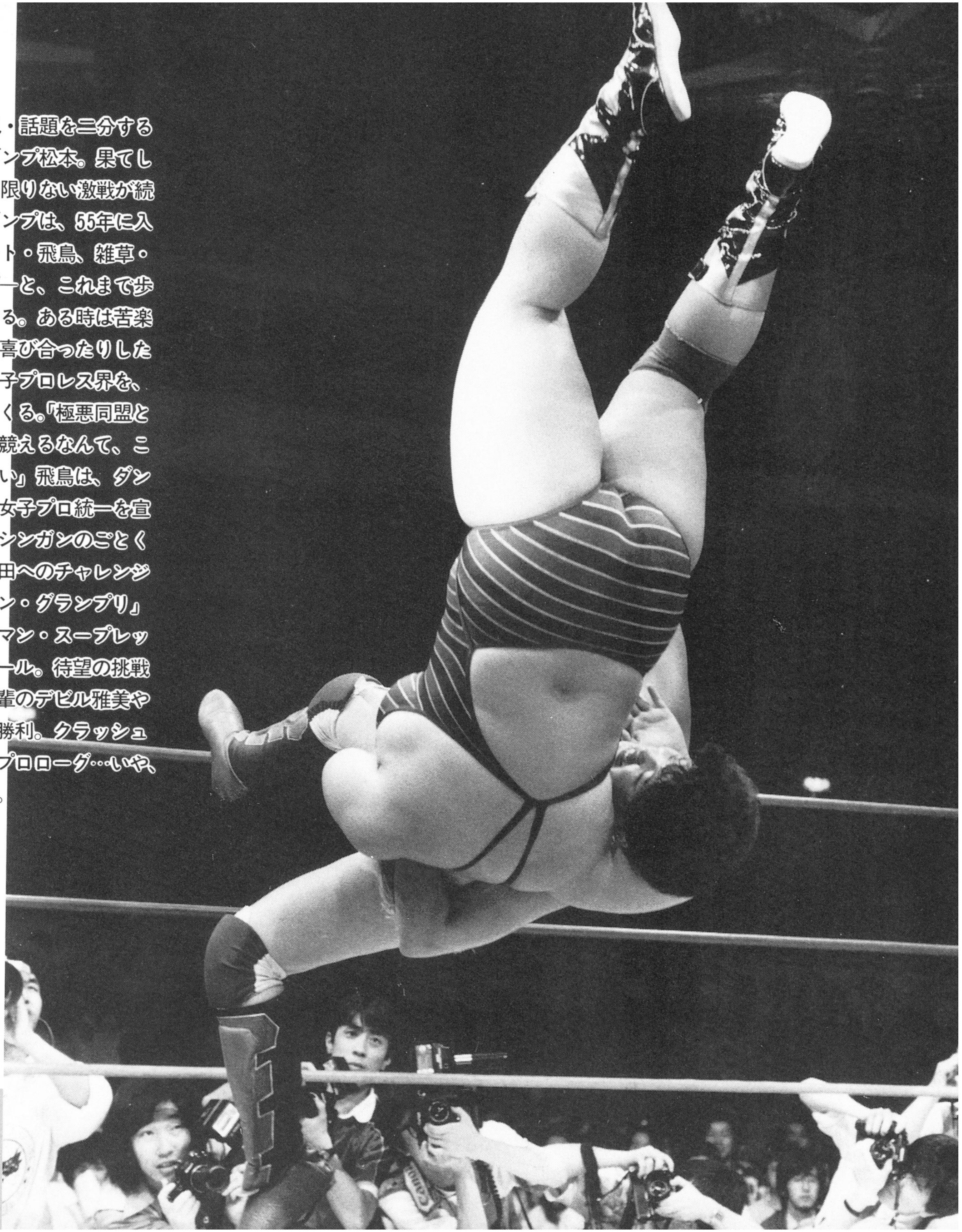
飛鳥が〝世界〟に王手をかけた日



WINNING PHOTO

ウイニング・フォト

全日本女子プロレスの人気・話題を二分するクラッシュ・ギャルズとダンプ松本。果てしない血の抗争を繰り広げ、限りない激戦が続く…思えばクラッシュとダンプは、55年に入門した同期である。エリート・飛鳥、雑草・千種、落ちこぼれ・ダンプ―と、これまで歩んできたストリートは異なる。ある時は苦楽を共に、悩みを相談したり喜び合ったりした仲間だった。その同期が女子プロレス界を、何のためらいもなく暴れまくる。「極悪同盟といえども同期だし。同期で競えるなんて、こんな充実していることはない」飛鳥は、ダンプと闘うことで、同世代の女子プロ統一を宣言しているかのように、マシンガンのごとくダッシュする。ジャガー横田へのチャレンジャーを決定する「'85ジャパン・グランプリ」で飛鳥は、ダンプをジャーマン・スープレックス・ホールドでピンフォール。待望の挑戦権をもぎとってみせた。先輩のデビル雅美やジャンボ掘を押しのけての勝利。クラッシュVS ダンプこそ、新時代のプロローグ…いや、世代交代決定版なのである。



ライオネス飛鳥
レスラーとしては理想的な体型と言われるけれど…

★肌　乾操肌
★血液型　A型。神経質だけど、ひらき直る性格なんだな
★体型　太り気味。腰がポイント、注目！

髪　サイドすっきり、上がふっくらの自然流。行きつけの美容院は、原宿の「モッズヘア」で月１回カット

足のサイズ26センチ。男性用しかないのが悩みの千種じゃなく、種

体重70キロ（ということにしておいて下さい。お願い！）

身長170センチ

目　目と目の間が離れている

歯　虫歯が２本。奥歯は１本もナシ。これはレスラーの証明なのだ

鼻　低い。文句あっか！

ノド　声は細く、ノドは強くない。疲れていると吸入器のお世話にならないと、レコーディングできません

バスト92センチ

傷　太モモの針が一番大きい傷。頭のてっぺんから爪先まで、20針の傷跡がアリマス。これもダンプが悪いのだ

ウエスト78センチ。抜群？のプロポーションでしょ（笑）

ヒップ100センチ。腰肉が魅力的

完全ボディチェック

長与千種
ウエイトアップでパワー強化！

髪　あくまでもナチュラル。パーマはNO。短くしてからは、3か月に一度のカットで大丈夫。シャンプーとリンスは毎日します

鼻　ダンゴッパナ

歯　奥歯は虫歯だらけ

ウエスト74センチ

★傷　頭の中と額に無数。ダンプにハサミで　頭を突きさされることもしばしば

★肌　ケロイド体質で、傷がすぐ残りやすい

★血液型　O型。これは典型的。自由を束縛されるのがイヤ！あと先を見ずに突っ走っちゃう

★体型　レスラーとしては少しスリムかな。もっと全体にに肉がつきたい

身長165センチ。もうこれ以上伸びません

目　ひとえからふたえに。でも整形なんかじゃないぞ！

ノド　低くそうだけど、ある程度の高音まで出せるんだ。女のコの「ヤダァー」という言葉を発してみたい

バスト92センチ。形の良さが売り物？

ヒップ95センチ

体重65キロ。ちなみにトモは、75キロですからヨロシク

足のサイズ25センチ

クラッシュ★データチェック

ジャストQ&A100

①本名・生年月日
飛鳥　北村智子　昭和38年7月28日
千種　長与千種　昭和39年12月8日

②出身地
飛鳥　埼玉県蓮田市
千種　長崎県大村市

③家族構成
飛鳥　母・幸子、姉・静子
千種　父・繁、母・スエ子、姉・一二三
　弟・洋（ひろし）

④最終学歴
飛鳥　埼玉県立蓮田高校一年修了
千種　大村市立玖島中学卒業

⑤初恋
飛鳥　小六の同級生（植木宏一郎クン）
千種　中二の時一年先輩（入口和美クン）

⑥好きな色
飛鳥　ブルー
千種　赤

⑦住居
飛鳥　高田馬場の1DKマンション
千種　目黒の1DKマンション。近々引っ越しを希望

⑧家賃
飛鳥　7万円
千種　雑費を含めて10万円位

⑨金銭感覚
飛鳥　一年前はメチャクチャ。今は普通に戻そうと努力中
千種　昔はまるでなかった。最近は先のことを考えて使っている。

⑩ニックネーム
飛鳥　トモ、トンちゃん
千種　チグサ、チーちゃん

⑪チャームポイント
飛鳥　涼しげな目元
千種　肩、ホッペタの白タマ

⑫趣味
飛鳥　友だちと遊ぶこと
千種　宝塚鑑賞

⑬得意な料理
飛鳥　煮込みうどん

千種　豆腐のグラタン

⑭ペット

飛鳥　いませ～ん

千種　犬。ヨークシャテリアのサラミ、ブルーベリー、チョコレート、ゼリー、チロリン

⑮スポーツ歴

飛鳥　野球（ニューヤンキースの練習生）バレーボール

千種　沖縄小林流空手二段、ソフトボール、陸上（砲丸投げ）

⑯学生時代はどんな子

飛鳥　中学前半は暗く、後半は明るかった

千種　プロレス一筋。今のニンニンやカナ坊のようなキャピキャピ・ギャル

⑰得意だった学科

飛鳥　英語

千種　保険体育、理科、社会

⑱苦手だった学科

飛鳥　数学、理科

千種　数学、英語

⑲小さい頃かかった病気

飛鳥　小児結核

千種　小児結核、栄養失調

⑳クセ

飛鳥　爪をかむこと　鏡を見ること

千種　爪をかむこと　髪をかきあげる

㉑宝物

飛鳥　自分自身

千種　愛犬

㉓アイドルとは

飛鳥　人に支持される偉大な人

千種　常に芸能ディレクターにチヤホヤされ待遇のいい人

㉓好きなマンガ

飛鳥　少年ジャンプ

千種　柳沢きみおの「愛人」

㉔好きな食べ物

飛鳥　肉

千種　白タマぜんざい

宝塚の星組とは大の仲良し。試合場と劇場と舞台が違うけど、なぜか気の合う仲間です

㉕嫌いな食べ物

飛鳥　しいたけ、豆腐

千種　しいたけ、肉の油味

㉖好きな音楽

飛鳥　ロック

千種　ニューポップス

㉗好きなミュージシャン

飛鳥　ハウンドドッグ、佐野元春

千種　上田正樹、杉山清貴

㉘好きな俳優

飛鳥　本田博太郎

千種　森本レオ

㉙好きな映画

飛鳥　特にジャンルはありません

千種　恋愛もので泣けるやつ

㉚好きなTV番組

飛鳥　TVは今、あまり見ない。女子プロレス中継だけ

千種　「オンたちひょうきん族」「女子プロレス」

㉛好きなレスラー

飛鳥　高田伸彦

千種　オールラウンドの出来る人。誰と言うとうわさになるから…

㉜好きな数字

飛鳥　7・11

千種　3（上に昇る可能性があるから）

㉝好きな言葉

飛鳥　いつでも希望をもって、前を向いていたい

千種　自分らしく、自分なりに

㉞嫌いな言葉

飛鳥　かったるい

千種　必勝

㉟やってみたいスポーツ

飛鳥　昔やっていたバレーボール

千種　アメリカン・フットボール

㊱もしマスクマンになったら

飛鳥　ヒールになりたい

千種　リングネームは、トンパチ千種

㊲尊敬する人

飛鳥　自分が尊敬される人間になりたい

千種　両親、山崎照朝

㊳特技

飛鳥　寝ないこと

千種　飛鳥と二人で宝塚の劇ごっこ

㊴自信のある技

飛鳥　ジャイアント・スウィング

千種　変型スープレックス、ラウンディング・ニールキック

㊵やりがいのある相手

飛鳥　長与千種、大森ゆかり、ジャガー横田、デビル雅美

千種　千種に対して燃えてくれる相手

㊶自分自身のベストバウト

飛鳥　最近では大森ゆかり戦（5月26日富士急ハイランド）

千種　ジャンボ堀&大森ゆかり戦（58年8月27日）ベストバウトを取った試合

㊷女子プロレスとは

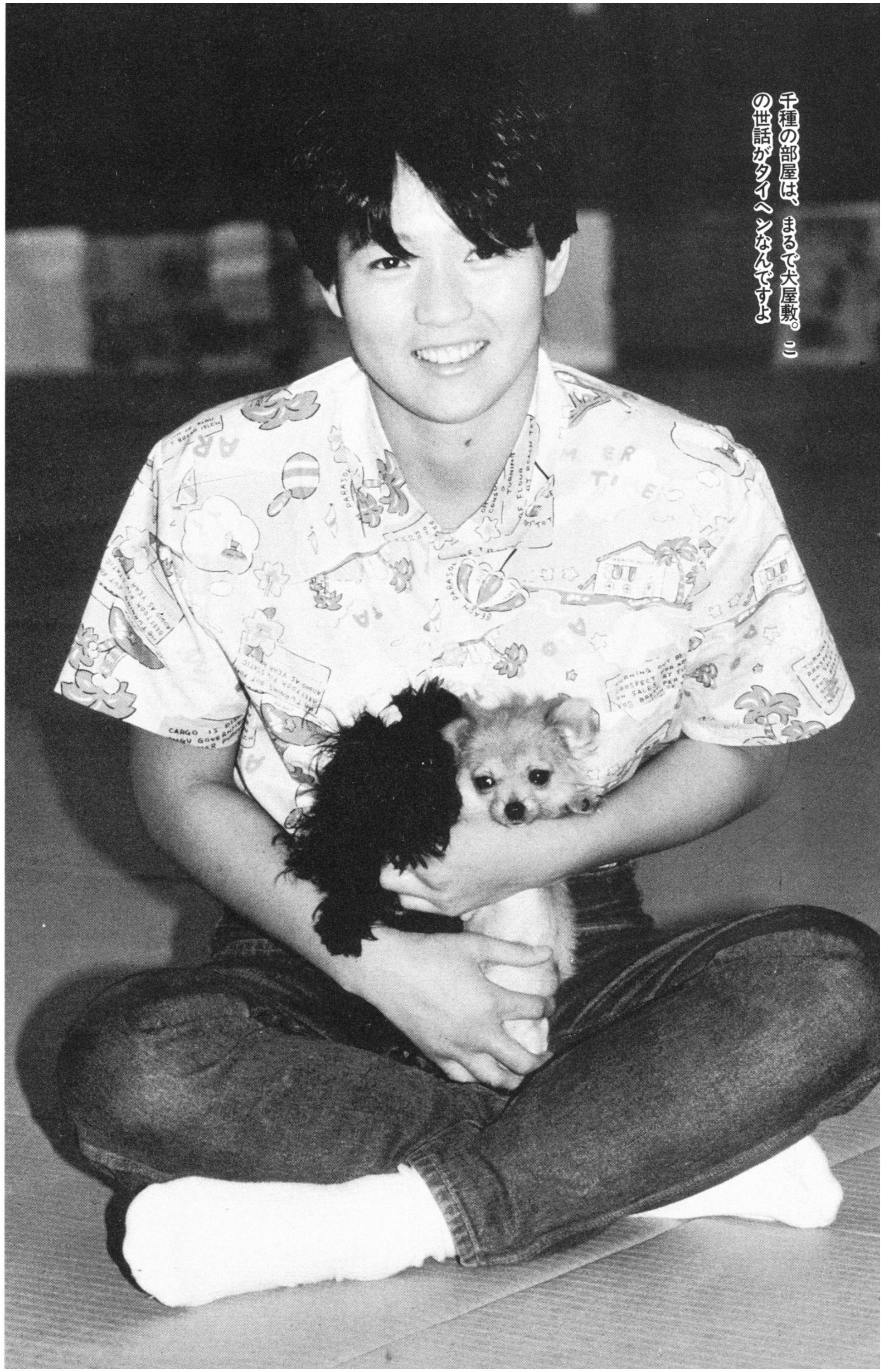
飛鳥　自分を表現できる最大の場

千種　汗と涙と血

㊸女子レスラーの条件

飛鳥　自分を律することのできる人

千種　個性的。性格の悪いコはダ〜メ。



千種の部屋は、まるで大屋敷。この世話がタイヘンなんですよ

ハートで勝負

㊹リングに上がって最初に思うこと
飛鳥　今日も疲労に負けるもんか！
千種　相手の顔色をうかがう

㊺あなたにとって〝風林火山〟とは
飛鳥　私のプロレスにとって根元的な姿勢です
千種　信条かな

㊻レスラーになって驚ろいたこと
飛鳥　人前で試合ができたこと
千種　プロレスラーと名がつくだけで、力が出る

ヌードなんか撮らせないから…残念でした。(笑)

㊼レスラーとしての喜びは
飛鳥　自分の好きなことで評価される
千種　勝っても負けても、客の「よかった」の一言を聞いた時

㊽メキシコの思い出
飛鳥　疲れたの一言
千種　オレンジの生ジュースしか飲まなかった

㊾クラッシュ革命の意味とは
飛鳥　枠のある女子プロレスを変えることです
千種　人と正反対のことをすること

㊿一番影響を受けた人
飛鳥　ジャッキー佐藤
千種　長州力

(51)お互い初対面の感想
飛鳥　大人しそうな人に見えた（今ではとても考えられないけど）
千種　でけえ〜と思った

(52)お互いの悪口
飛鳥　肩ハリ、エモンかけ
千種　口がロレってる。目ハナレトンちゃん

(53)お互いの意外な弱点
飛鳥　オバケに弱い
千種　ママの話をすると、すぐ泣く

(54)マスターしたい技
飛鳥　スープレックス
千種　カンヌキ・スープレックス

(55)いま欲しい物
弊鳥　バイク
千種　ポケット・バイク

(56)一日の睡眠時間
飛鳥　4～5時間。タフネス飛鳥です
千種　4～5時間

(57)一日のトイレの回数
飛鳥　3回
千種　無数でわかりません

(58)下着の所持数
飛鳥　40枚　白・ピンク・青
千種　30枚

㊾ブラジャーは
飛鳥　6枚
千種　しません
㊿寝る時のスタイル
飛鳥　ランニングに短パン
千種　ホテルではパンツ一枚。自宅では
　Tシャツに短パン
㉛一番幸わせな時間
飛鳥　電話している時です
千種　仕事から帰ったあと
㉜最近読んだ本
飛鳥　ナシ
千種　風林火山の風の巻
㉝もし一週間完全オフだつたら
飛鳥　予定を組まず、その日その日を自
　由気ままに過ごす
千種　変装して石垣島から少し離れた、
入表島に行きます
㉞好きなプロレス雑誌
飛鳥　週プロ、デラプロ
千種　デラプロ
㉟マイアイドルは
飛鳥　ライオネス飛鳥です
千種　宝塚の男役。峰さを理、夏美よう
㊱一番会いたい人
飛鳥　特にいませんねえ
千種　この世の中で、千種のことを一番
　愛してくれる人
㊲仲良しタレント
飛鳥　三原じゅん子、伊藤サヤカ
千種　大沢逸美、桑田靖子、麻生真美子
　&キャプテン
㊳電話は好き
飛鳥　私の生き甲韮です
千種　もちろん。電話代はシークレット
㊴ビデオは何本持つてる
飛鳥　だいたい30本。自分の試合が多い
千種　UWFのビデオ3本は宝物の一つ
　です。クラッシュものは2本
㊿レコードの枚数
飛鳥　EP・LP合わせて50枚

千種　一枚もありましえ〜ん
㊱コレクション
飛鳥　バイクのヘルメット
千種　ファンから贈られた、チャンピオ
　ンベルト（もちろん手作り）
㊲一番怖いもの
飛鳥　お母さんを失うこと
千種　人間
㊳お酒は
飛鳥　飲んではいけませ〜ん
千種　三禁です
㊴車
飛鳥　ボルボがほしい。誰か買って下さ
　い。今、免許を取っている私です
千種　いすずのピアッツア
㊵化粧時間
飛鳥　5分。素顔が一番

千種　10分〜15分。普段はスッピン
㊶一番高い持ち物
飛鳥　ママにプレゼントしたマンション
千種　指輪。ウン十万円もしたのだ
㊷とらばーゆするとしたら
飛鳥　なんたって〝ライダー〟
千種　炉ばた焼きのおかみさん
㊸男に生まれていたら
飛鳥　プロ野球の選手かライダー
千種　大工さん。胸板の厚い人
㊹思い出のTV番組
飛鳥　白黒の「パーマン」
千種　「仮面ライダー」
㊺出演したい番組
飛鳥　「グッドモーニング」
千種　「火曜サスペンス劇場」「ザ・ベス
　トテン」

肥満児コンプレックスで，自閉症だった少女時代（飛鳥で〜す）

㊱感動した映画
飛鳥　「E・T」
千種　「蒲田行進曲」「ネバーエンディング・ストーリー」

㊲ラブレター書いたことある?
飛鳥　一度もない
千種　中学校の時に

㊳結婚相手の条件
飛鳥　優しくて金持ちで、嘘を絶対つかない人
千種　6~7歳年上で、私のわがままを聞いてくれるガッチリデブ

㊴結婚式は
飛鳥　仏前結婚
千種　川原で、祝ってくれる人達と

㊵子供は
飛鳥　3人
千種　一姫二太郎

㊶夫を何て呼ぶ
飛鳥　名前で呼びたい
千種　おまえさん

㊷きらいな男のコ
飛鳥　嘘をつく人
千種　ひょろっとしたヤンキーの格好した奴

㊸きらいな女のコ
飛鳥　嘘をつく人
千種　集団でしか行動のできない奴

㊹世界で一番強いレスラーは
飛鳥　人それぞれ違う実力があると思う。自分が一番強くなりたい
千種　馬場ちゃんですね。女子では未知の外人に強いのがいそう。

㊺もし首相に任命されたら
飛鳥　断わります
千種　みんなと同じに、立ち喰いソバを食べます

飛鳥と千種はソフトボールの名手。女子プロレスチーム「転倒無視」の主軸です。ちなみに飛鳥がピッチャー、千種がファースト

(91)朝起きたら、毛がなくなつていたら
飛鳥　絶対に人前に出ないで、部屋に隠れている
千種　寝てるまにダンプに切られたのだと思うしかない

(92)ダンプについて
飛鳥　凶器がなくても、お前は十分一人で闘えるんだ!
千種　今度、大きい服を売ってるとこ教えてやるからな、バ~カ

(93)ヌードを撮らせてといったら
飛鳥　ヤダッ!!
千種　顔を洗って出直してこい

(94)20歳を越えて一言
飛鳥　もっと、しっかりしなくてはネッ
千種　年を感じちゃう

(95)初めてセックスの意味を知つたのは
飛鳥　トモは今だに、知りません(笑)
千種　小学六年の時。早熟千種です

(96)故郷を語る
飛鳥　緑が多く、のんびりした町
千種　物事を静かに考えられる所

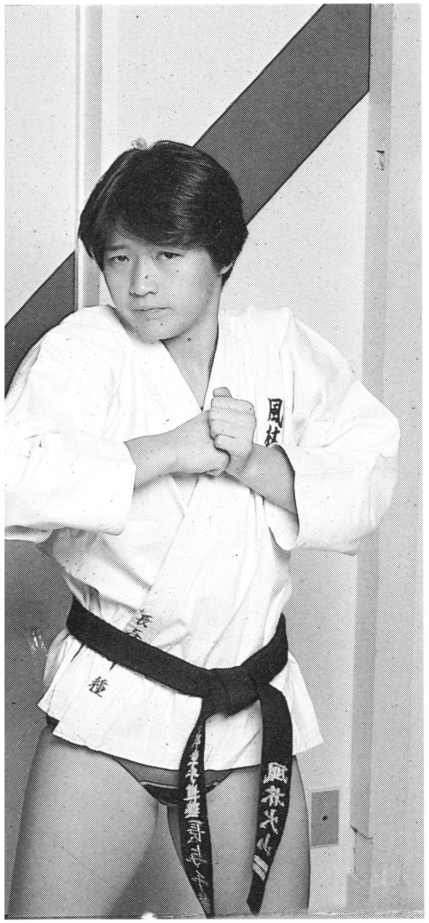
(97)今、一番破壊したいもの
飛鳥　自分の心の中の、じれんま
千種　芸能の仕事。これしかない!

(98)お母さんに対して
飛鳥　どうか長生きして下さい
千種　「ありがとう」

(99)後輩に対して
飛鳥　自分に負けないで、もっともっと強くなってほしい
千種　シュートのできる本当の強さを身につけてくれ

(100)ついに100問め
飛鳥　まるで連想ゲームのようだった
千種　あと100問もってこい(笑)

EPILOGUE



本当の事云うと、やりたいこと多くさんあるの。
千種だって、プロレス以外の夢 多くさんあるよ
今はねっ！ 仕事が多くさんあるから、頭の中で考える
だけ… いつか かならず 一ツ一ツ 実現させるよっ！！
武道館では一時間たらずだけど…夢が実現した
5年間頑張って、たった一時間。それでも夢は実現。
次の夢の実現まで どのくらいの、時間かかるか、わからない
です その夢のためなら頑張れちゃうよ！ 何時間何年たっても
大好きな、自分の夢のために。8月23日この日がスタートです。

「自、思、通貫、」

長与千種

EPILOGUE

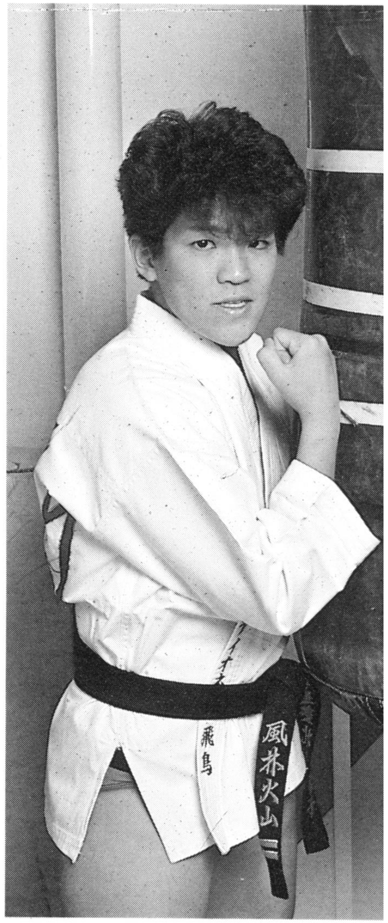
人間て 何か目標持ってないといけないと思う… 私の目標… 今着実に達成しようとしている。うれしいけど少しこわいような気もするナ。達成したあと プツン！と切れちゃいそうで… だから 今また あらたな目標を 探してるところ…

私は いつまでも 走り続けていたい

今日の1日に悔いなく、自分に悔いなく

そして いつでも希望をもって 前を向いていたい!!

ライオネス飛鳥



クラッシュ・ギャルズ
ライオネス飛鳥＆長与千種
スペシャル読者
プレゼント

これはもうサイコー！ "風林火山"の空手着が当る!! スペシャル読者プレゼント

日本空手道塾長である山崎照朝氏は元より、クラッシュ・ギャルズのシンボルである〃風林火山〃の空手着が、な・なんと3名に当ります。今回は特別に日本空手道塾から進呈されるもので、山崎氏とクラッシュ・ギャルズの直筆サイン入り。また30名に、この本に掲載されている一番好きな写真のパネルを、さらに100名に、好きな選手のサイン色紙をプレゼントします。

〈応募方法〉 アンケートに答え、あなたの住所、氏名、年齢、電話番号を書いてください。また、必ず応募券を**1**と**2**の2枚貼って応募してね。

※応募券**1**は『クラッシュ・ギャルズ』**2**は『女子プロレス・全選手カタログ』（いずれも池田書店刊）についています。応募券がないと無効になるので要注意！

〈応募先〉 〒162東京都新宿区弁天町43 ㈱池田書店「女子プロレス・スペシャル・プレゼント係」までハガキで送ってね。

〈締切〉 昭和61年1月31日必着

■アンケート

①この本でイチバン良かったページは何ですか
②この本についての感想や意見は
③今後、どんな本を希望しますか
④あなたは誰が一番好きですか
⑤この本の定価はどう思いますか

発　行　昭和60年10月15日　初版
定　価　780円
発行人　池田菊夫
発行所　株式会社　池田書店
　　　　〒162 東京都新宿区弁天町43
　　　　電話03（267）6821
印刷所　凸版印刷株式会社
落丁・乱丁本はおとりかえします。

©Ikeda shoten 1985, Printed in Japan

ISBN4-262-18103-0 C0074

〈スタッフ〉

★特別プロデューサー　山崎照朝
★企画・編集　ＲＲプロジェクト
★撮影　黒崎彰　水野佳昭
★デザイン　島崎　萠
★協力　全日本女子プロレス興業㈱

編集担当　三木耕市

クラッシュ・ギャルズ
ライオネス飛鳥＆長与千種

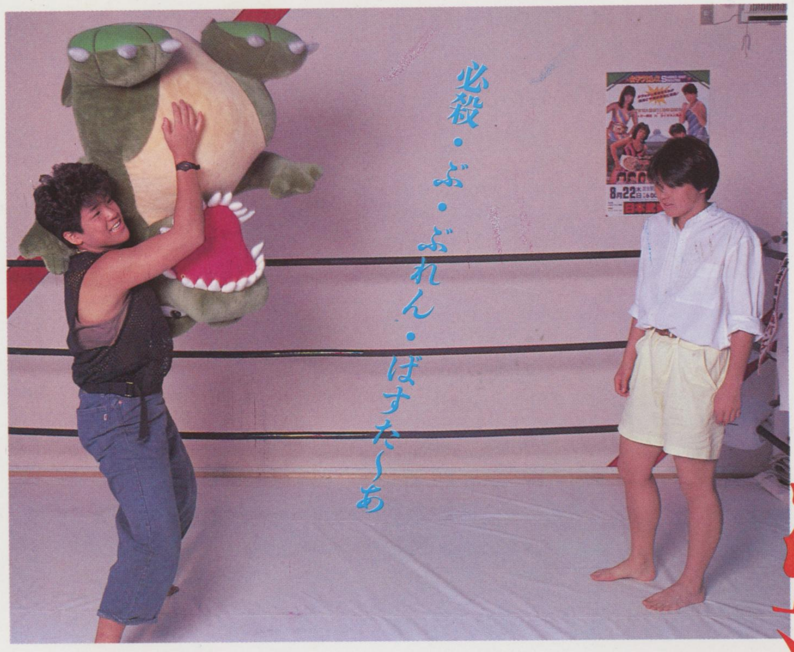
CRUSH ALL THE BEST

クラッシュはいつだって、我々の夢を実現してくれる。
スーパーアイドル、クラッシュ・ギャルズは
永遠の夢追人なのだ。

クラッシュ異種格闘技◐パート1

ライオネス飛鳥VSゴジラ

オッと!飛鳥とゴジラが超過激対決だヨ〜ん



必殺・ぶ・ぶれん・ばすた〜あ

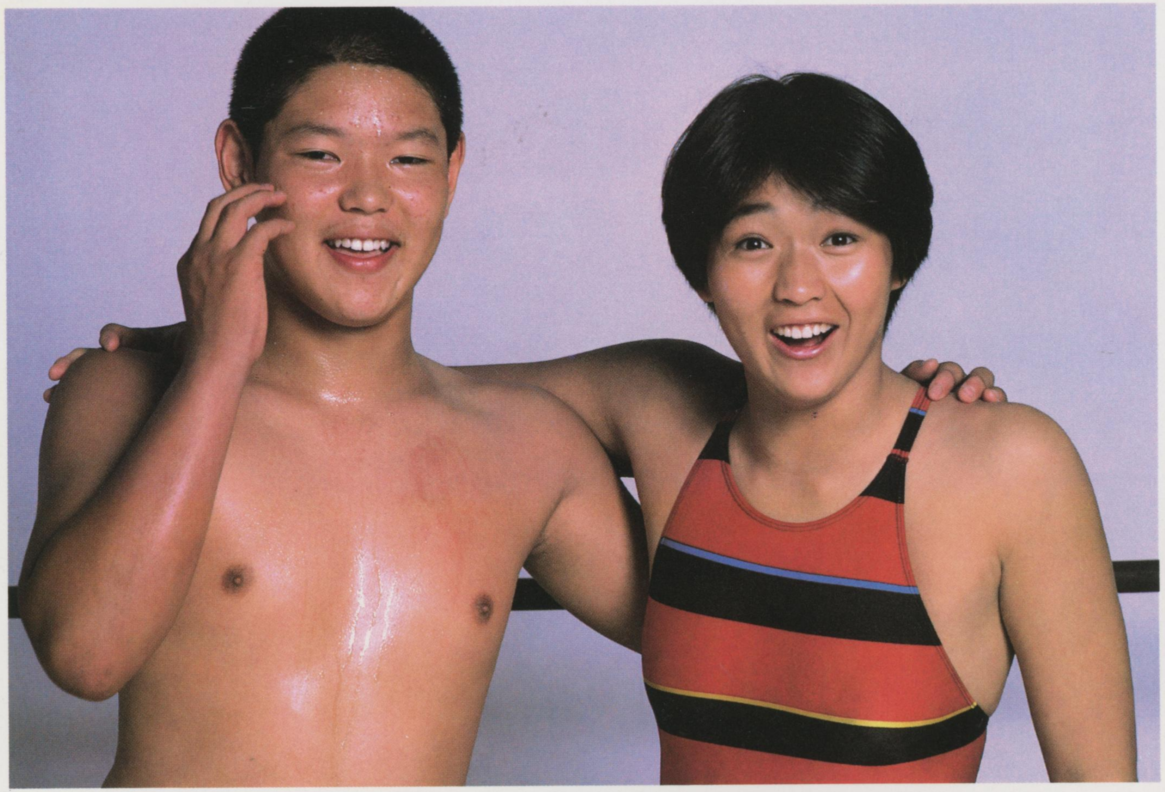
大苦戦!!飛鳥フォール負け寸前

最後はクラッシュ
見事な連ケイでＫＯ勝ちー!!

クラッシュ異種格闘技◉パート2

長与千種VS長与洋（ひろし）

これぞプロレス界の常識を破った姉弟対決!!



弟・洋クンの話をする千種は、子供のように純真な笑顔をみせる。会うたびに成長する洋クンと対面するのが、嬉しくてしょうがないって感じだ。「オイはプロレスに入る」と女子プロ入りした千種だが、洋クンも「オイもプロレスに入る」と夢がふくらむ。14歳で175センチ、75キロの洋クンは、新日本プロレス入りをめざし猛特訓中なのだ。はたして、史上初の姉弟レスラーの誕生なるか…その前に特別姉弟対決といってみるか！

「オイはねえちゃんには負けん!」

ライオンに乗ったライオネスってそのはど〜お

走れ！走れ！

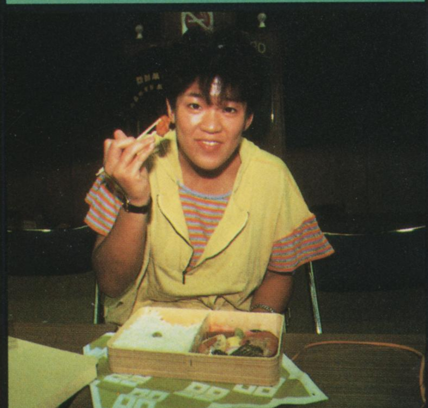
若者は無心で走るのみ

気ままに FUNNY FACE

迷場面珍場面特集の出番で〜す

▶「歌も振りも衣裳もサイコォーッ！ ねえねえ、ベストテンに入れてチョーダイ」(飛鳥)

◀「これ、なんのポーズかわかる？ わかんネエーだろ。ざまあみろ(笑)」(千種)
▼「弁当・命かって？ いいえ、それはブル中野のことだヨ〜ン」(飛鳥)



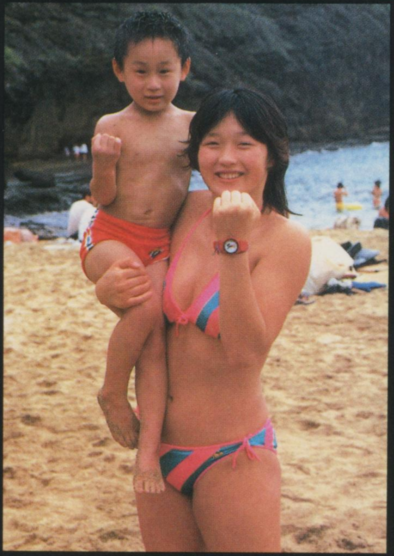
▲「なぜ帽子をかぶってるかって？ えっ、どーせ私はポーズですよ(笑)」(千種)
▶「このみチャンは、やっぱしトンちゃんが好きなんだもんねえ〜」(飛鳥)

▶「トモに近づくと喰われるゾォー警告イチ」(千種)

▶「ドラムなんて、チョロイもんだよ。コンサート見てくれたか〜い」(千種)

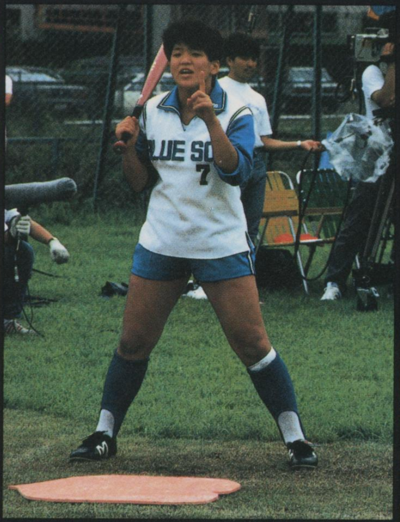
その試合と同じで、何をやらかすか計れないクラッシュ・ギャルズ。ちょっとコーヒーブレイクして、ひと休みはいかが……

▲「千種ったら、急に踊り出すんだから。なんちゅうセーカクなんだろ」(飛鳥)
▶「いくら写真がないからって、ちょっと古いんじゃないの？　ここはヒロシマ、原爆ムス〜〇アッまずい！」(千種)



▲「私の私のカレ〜は…右きっきぃ」(千種)

▼「おーい千種。ホームランかっとばすから、目ん玉かっぽじってよく見ろよ」(飛鳥)



保存版!!

クラッシュ ディスコ&ビデオ

聞きたい気分に、いつでも聞ける。それがレコードのいいところだね。もうレコードじゃなくて、カセットなんだぜ！レコードなんか古い！そんなこと言わないで、買ってチョーダイ。クラッシュ・マニアなら全部もってなきゃ失格だぜ。

シングル

「夢色戦士／傷心ボーイ」(ビクター音楽産業＝昭和60年４月25日)
スーパー・アイドルの道を突っ走しる第３弾。初披露はフジＴＶの人気番組「夜のヒットスタジオ・デラックス」だった。５月１日・５日のファースト・コンサートのメイン曲としてもお馴染み。

「炎の聖書／熱風撫子」(ビクター音楽産業＝昭和59年８月21日)
プロレスのみで勝負しようとしたクラッシュを、時代はアイドルとして要求した。その記念すべきデビュー曲には、クラッシュのプロレスに対する気持がうまくこめられているのだ。あのピンク・レディを育てた、飯田久彦プロデューサーと、振り付けの土居甫氏というヒット・コンビが担当。

「東京爆発娘！／HEALTRY」(ビクター音楽産業＝昭和60年８月21日)
なんとオリコンのヒットチャートで初登場15位という快挙？。まさに爆発しそうな勢いなのだ。ティーンに多い恋の悩み、そして失恋を励ます内容だ。この曲から振り付けが、西条満氏になり、一段とエスカレート!?

「嵐の伝説／つま先まで Ｉ LOVE YOU」(ビクター音楽産業＝昭和60年１月21日)
クラッシュのデビュー曲の候補にあげられたくらいの力作。ＴＢＳ系ドラマ「毎度おさわがせします」の挿入歌として、クラッシュ登場のＢＧＭに使われていたんだぜ。「ザ・ベストテン」にも話題曲として初出演するなど話題性のあった一枚だ。チェックのスーツが渋かったネ。

アルバム

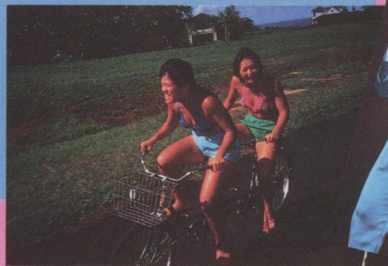
「全日本女子プロレス・テーマ曲集　スーパー・エンジェル」(キティレコード＝昭和60年５月25日）￥2800　全12曲
SIDE1　スーパー・エンジェル／ストーム・ライダー（長与千種のテーマ）／エクスプロージョン　S ninba Yea！ASUKA！（ライオネス飛鳥のテーマ）／ダーティ・チェーンズ（極悪同盟のテーマ）／マジカル・フォース（大森ゆかりのテーマ）／スティール・ヒロイン（ジャガー横田のテーマ）
SIDE2　ヒート・アップ（山崎五紀のテーマ）／プリズム・サーカス（立野記代のテーマ）／スパークル（小倉由美のテーマ）／パープル・タイフーン（デビル雅美のテーマ）／タワー・オブ・パワー（ジャンボ堀のテーマ）／ロンリー・アイズ（唄・デビル雅美）
上田正樹、つのだひろ、矢萩渉など一流ミュージシャンを結集させた、入場テーマ曲集。クラッシュには、ビクターから「ローリングソバット」というテーマがあるため、実際には使用されていないのが残念だ。

「〜熱血の記録〜ドキュメント！クラッシュ・ギャルズ」(ディスコメイト、レコード＝昭和60年２月25日）￥2000
SIDEA　クラッシュ・コール／炎の聖書インストゥルメンタル／VSジャガー横田＆デビル雅美／インタビュー／VSジャンボ堀＆大森ゆかり
SIDEB　'84全日本女子プロレス大賞授賞式／VSダンプ松本、クレーン・ユウ、ペギーリー／若き時代テーマ「I've Been Waiting For You」／インタビュー／炎の聖書
長州力、前田日明に続くディスコメイトのプロレスラー実況ＬＰ。インタビューでは、クラッシュのまさに肉声が収められ、本音トークしている。女子プロレス大賞授賞式など、他では絶対に聞けない貴重なテープだ。付録としてスーパージャンボ・ポスター。これは思わずデッカイ！

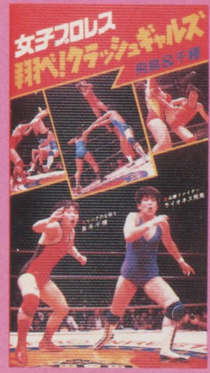
「HEALTHY」（ビクター音楽産業＝昭和60年９月５日）￥2800　全９曲
SIDEⒶ　風林火山／夢色戦士／傷心ボーイ／HEALTHY／ONE SUMMERNIGHT
SIDEⒷ　東京爆発娘／SHINING SHOWER／気ままにアフタヌーン／雨の幻影
２枚目のオリジナル・アルバム。試合後、深夜のレコーディングで完成したお気に入りの作品だ。このアルバムは、シンガー、クラッシュとしての新たなる出発ともいえ、本人たちのノリが違うぞ！

「SQUARE JUNGLE」(ビクター音楽産業＝昭和59年10月５日）￥2000　全８曲
SIDE1　ROLLING SABOT／炎の聖書／青春オン・ザ・ロード／熱風撫子
SIDE2　September summer／…Rain／つま先まで　I LOVE YOU／風のチケット
何度も何度もレコーディングを繰り返し。苦労の末できた初アルバム・コンサートなどでよく歌われるが、飛鳥と千種それぞれのソロが聞きどころだ

ビデオ



「嵐の伝説　クラッシュ・ギャルズ」（ビクター音楽産業＝昭和60年３月５日）￥8800　37分
昨年12月、船橋ララポート劇場で行われた"ファンの集い"での熱唱を再現。そして、ハワイでの特撮…ハワイのロケは雨天の連続で予定されていた撮影が延び延びで、帰国したのがなんと大晦日の12月31日。でも、そんな中でワイキキのサンシャインを浴びて、はしゃぐクラッシュ。全９曲入りで、まるでイメージビデオって感じで構成されている。おまけとして、飛鳥と千種の漫才が見られる。これは、もうこのビデオを買うっきゃない！



「女子プロレス　翔べ！クラッシュギャルズ」（ポニー＝昭和59年８月25日）￥8800　30分
VSダンプ松本＆マスクド・ユウ、VSジャガー横田＆デビル雅美、この二試合のハイライトシーンに、プライベートライフや得意技がふんだんに紹介されている。原宿、表参道でのロケに始まり、横浜の山下公園、新宿の高層ビルと飛鳥＆千種が追いかけっこをする。お互いの自室を訪ねているのが目玉だ。レコード・デビューする以前に製作されたため、レスラー・クラッシュの色合いが強いのだ。

「青春伝説〜クラッシュギャルズ　ファーストコンサート〜」（ポニー＝昭和60年７月）￥5000円　38分
５月１日、中野サンプラザのファースト・コンサートを完全収録。全12曲入りで、「炎の聖書」などのオリジナルに加え「ふたりの愛ランド」「いとしのエリー」「ＴＡＫＡＫＯ」「ジェラス・ガイ」を初披露。歌手としても完全燃焼した。その生々しいライヴを記録した感動の一本だ。値段も5000円と破格の安さ！演奏は、ＪＡＢＢＡ＆ＷＥＬＣＯＭＥ　ＡＬＬ ＳＴＡＲＳ。

ネバーエンディング・レボリューション

クラッシュ★ギャルズ

全国の書店で絶賛発売中!!

★女子プロレス・パーソナル・シリーズ❷

女子プロレス
全選手カタログ

A5変形判 72ページ 定価600円

女子プロ大スキッ子、そして女子プロのことならなんでも知りたい君。そんな君が待ち望んでいたオールスター・カタログがついにできあがりました。IDOL グラフ・エッセイ・自筆メッセージ・データチェックなどで選手一人一人を詳しく紹介しちゃうときめきの一冊。今、新鮮感覚で TO YOU!

バック・ナンバーのお知らせ!

素顔の女子プロレス

今年3月に発売されて、アッと言うまに売り切れ続出でご迷惑をおかけした、女子プロレスの楽しいフォト、直筆の履歴書と話題満載の本、「素顔の女子プロレス」のバック・ナンバーが揃いました。

AB判 100ページ 定価780円

★ご希望の場合は、近くの本屋さんに「池田書店から発売されている『素顔の女子プロレス』を取り寄せて下さい」と注文してくださいネ。

お問い合わせは 池田書店 〒162東京都新宿区弁天町43 ☎03-267-6821

CRUSH GALS

ISBN4-262-18103-0 C0074 ¥780E

池田書店　定価780円